

京都大学インド亜大陸学術調査フィールドノート1987年

月日	場所、収集番号	メモ内容
87-9-2		1:30pmに自宅を出て、6:15pm成田離陸、Hong Kong 経由で、
87-9-3		1 amにDelhi着で、2amにImperial Hotelに着く。10amにコンノート、Janpath Hotelに行き、1 pmに日本大使館に行く。 2:30pmまで休みだったので、IHに戻り、昼食。参事官に会うが便宜供与依頼は来ていないので、宮永氏に会うよう勧められる。4pmにIHに戻る。7:30pmにJHで夕食。前回の時のgroupはいなくて残念だった。
87-9-4		JHに予約に行く。
87-9-5		JHに移動。ICARへ行くが休みなので、National MuseumとZooに行く。ShopとMandarinの支配人が覚えていて、喜んだ。
87-9-6		コンノートで薬品を買う。石川君に会う。
87-9-7		ICARに行く。Dr. Sirvastavaは退職、Dr. Raoに会い、手続きを依頼する。Dr. Kopparから電話があるはず。大使館に行く 宮永一等書記官に会う。農水省からの出向。8:30pmまで電話待ちしてから、夕食に行く。
87-9-8		電話なし。小林さんは風邪気味。3食をJHでとる。
87-9-9		ICAR に行き、4pmにNBPGRに行くことになった。Mrs. Ramanは親切であった。Dr. Raoは不在、Dr. Parodaには会わず、Dr. Aroraに会う。5pmにDr. Kopparが来る。詳しくは明日打ち合わせるようになった。7pmに阪本先生に電話する。Dr. Arora談: ジュートの会議で多忙という。Dr. Seetharamは北部に行っていて不在。ICARでなく、NBPGRでよい。Dr. Koppar が手配する。Milletはまだ開花していないので、下旬から開始したほうが良い。Shilongは危険だから止めて、Orissaは洪水でよくない。 谷先生10:30頃電話して、JHにおいでになる。
87-9-10		JHで待つが電話なし。4pmにNBPGRに電話して明日10:30amに会うことになる。Dr. Aroraが出て、Dr. Kopparより復信あり。
87-9-11		10:30amにNBPGRに行く。2時まで見学とdiscussion。Director Dr. Parodaに会う。20日しか政府は許可しない。4pmにpost officeとJapan Culture Centerに行く。 USSRのチームが来ている。1週間。IGの許可入手には15-20日必要、調査は20日に制限。阪本先生とJointしてからだめか。21日に来て、スケジュール調整。9月23日-10月2日 MP、 10日、Dr. Kopparと。10月5日-10月14 (16)日、 Dr. Seetharam と。阪本先生に早くインドに来るようにいうか。
87-9-12		9 amにPakistanの阪本先生に電話、つながらない。2:30 pmにTokyoに電話して阪本先生とのコンタクトを頼む。5:30 pm に返事あり、明日7amに出かけて、10月14日まで戻らない。Dr. Anwarあてに手紙送れ。

87-9-13	Dr. Matsuiより電話。Srinagar行きの切符をもらう。
87-9-14	8:30pmにDr. Kopperと打ち合わせ。直接的でない記録は省略する。
87-9-15	7:20amに空港、8:40am, IC437に乗り、10:30amにSrinagar着。ボートハウス。5:30pmボートでMugar Gardenに行水辺には <i>Rorippa sylvestris</i> が多く生育していたが、不稔であった。湖にはスイレン、ガマ、アサザ、ムジナモ、シャジクモ、オモダカ、クログワイもあった。カワセミ、カモがいた。天の川が美しかった。対岸では花火と音楽をしていた。
87-9-16	67350km、9:55am発。1520mを1600mに補正する。道路を右折する。プラタナス巨木が街路樹。アヒル、ヤギ、ウシ、ニワトリ。トマト、コールラビ、ヘチマは店にあり。 10:07am。左折、右にlake side garden、リンゴの疎林の間には、maize, tomato 10:14am。小水田、リンゴ。まだ平らである。用水路にヤナギ、燃料。北西に向かう。1625m。 10:19am。水田が広がる。葉野菜畑。多品種、登熟中で収穫していない。 10:29am 棚田でゆるい坂。
k87-9-16-1	10:50am。1600m。水田。牧草地で女性が草刈。水田中のヒエ除草。Fodder。 11:00am。Flower Garden グラジオラス、ダリア。プラタナス。小トウモロコシ畑、山足に入り、山に向かう。ヤギ、クワ畑
k87-9-16-2	11:07am。Leh404road。水田、橋を渡る。河岸段丘。PAMICAM police training center。右に川、左棚田。 11:22am。Agropyronが路肩にあり。右に川、山が迫る。針葉樹の疎林。水田中にトウモロコシが出てくる。 11:35am。Lhe394。斜面にトウモロコシ。果落。ナス、ジャガイモ。トウモロコシはナヤハアイにする。当か多いのでコムギは作らない。11:45am。ポプラ、ヤナギ、水田あり。
k87-9-16-3	1859m、11:50-12:00発。対向車待ち、エンジンに水をかける。 道路にアスファルトをひいていて、片方しか通れずに、長い列を作っている。 途中で便乗した老兵士、地元出身。Riceは煮る。トウモロコシは焼くか、chapathiにする。 町近くの店、コムギ、オオムギ、雑穀も売っていない。洋パン、プリー、サモサが多く売られていた。 Rubs "Kandara" for eat 意味不明。谷を進む、右手に川。トウモロコシとイネ栽培は半々くらいか。 12:20pm。雪山が見える。右、川辺の道を進む。水田は少なくなり、トウモロコシがほとんど。Cheree? 読めない。イネは少ない。Leh 384km、1227m。川の水はきれい。12:28pm川を渡る。紅花インゲンがキッチンガーデンにある。モスクがある。トウモロコシ中に <i>Sorghum halepense</i> か?。短稈水稻の穂は紫色。 12:38pmに川を渡り、右折。 12:42pm、2072m。ソバをはじめて見る。トウモロコシが多い。川は眼下を流れる。白い花が少し見えた。 <i>Fagopyrum esculentum</i> か。ソバ2ヶ所、3-5a。オオムギ1ヶ所、2品種か、ほぼ熟している多い芒、短い芒、1aと畑の縁取り。 12:55pm。トウモロコシが取も多い、低い草、50cm、肥料につく。ソバ。Quercus うれさも、マンはガの刺栗樹 2290m。トウモロコシ畑はなくなる。 13:03pm、2423m。草地のみ、谷は狭い。用材を切り出している。Parathソクズ、オレンジ果。 Srinagar 354km、13:10pm。オオムギらしき畑ある。2620m。

- k87-9-16-4 昼食、お茶。16:40pm発。
- k87-9-16-5 赤のアマランサスらしきものを見る。3ヶ所、観賞用かもしれない。
氷河の末端という、2920m。タンポポ、キンポウゲ、*Iris*、ワスレナグサ。15:25pm下る。85km to Srinagar
19:00pmに帰着。1630m。20pmに夕食、流星を見て寝る。
Srinagar-Pahalgam (village of Shepherds), 95km. From Pahalgam with pack ponies to Aru (11km). Aru is
at an elevation
of 9270 feet. Srinagar-Sonamarg (Meadow of Gold) 83km.
21632km, 1600m, 10:10am. Boathouse発。
87-9-17 10:19am、街中に入る。右に、歴史を感じさせるMosk. 八百屋にはヘチマ、ウリ、コールラビー、ナス、カブ、ピー
マン、トマト、
揚げ物が多い。10:27am. Economy boathouseを右折。中心街Mliahna Zard Roadを右折。10:32am. College of
Educationを右折。カシミール人のほか、パンジャブ、シーク系の人もある。サリー姿は少ない。ブドウ、バナナ、
ザクロ。
10:40am。バスターミナルを左折、city centerから出て、ポプラ通りを北西に向かう。ジャガイモ、タマネギ、
green banana
が多い。ヤナギ、ガマの湿地。
10:50am。左にバイパス直進、西に向かう。多くは輸送。イネ、トウモロコシ少し、リンゴも少し。冠水したイネを
束ねている。
11:00am、1600m。Gulmarg 37km、南西方向に左折する。バス停でトウモロコシを焼いて売っている。Driverが買
左右に稲田、トウモロコシや野菜畑は稀。路面図あり、快走する。
11:10am。直進。左手はSingpora方向。ウシ、ウマ、左右に稲田。ヤギ10頭、ウシ6頭。イネの収穫を始めている。
三角とんがり白い帽子。
11:15am。町中の橋を渡る。右に丘が近づいてくる。Phyuru Goingm方向に行かずに左折。景観は、稲田の中の用水
路辺に
ヤナギ。トウモロコシの小さな畑。リンゴが少し出てくる。水田がゆるい棚田になる。クワ畑、30a。
11:23am。Wassan Krahamaに向かわずに、Ogmana 6km方向に左折、1730m。
22:27am。水なし川を渡る。水田少なくなる。クルミが多い。Kunzer. トウモロコシ1-3a。ウマ20-30頭、2集団。
左右に棚田、1885m。リンゴ、女性は草運び。
11:36am。2100m、水田はなくなる。左の谷はまだ水田が広がっている。多くはトウモロコシに置き換わってきてい
11:40am、2105m。Tangmarg. Checkpost. Resthouseで茶を飲む。
To Srinagar 40km、12:00pm発。モミ、マツが多い。街路樹に移植されたトチノ木らしきものがある。
12:06pm、2260m。Gulmaly 10km方向に左折。クズ白花。下草は少ない。ヤギ30頭。2370m。オオバコ、スイバ。
樹高20m以上、直径1m以上。ヤマゴボウ、花房は直立。*Solidago*に似たキク科。マツが非常に多い。2570m。
12:24pm。フランスギクに似た花。Glumarg Center 2620m。地図あり。
-
- k87-9-17-1 horseに乗って、山に行く人が多い。Lunch, 14:34pm発。スキー場の草地。Dr. Kobayashi Tangumargの写真。
ゴンパやモスクがある。2580m。

- k87-9-17-2 14:48pm、2510m。山の途中。15:05pm、Tangmarg通過。
15:40pm、1770m。水田。地域農業試験場の2人にヒエのコントロールと日本での仕事について聞かれる。イネとトウモロコシしかないという。
16:20pm、city centerに戻る。16:40pm着。釣り。Cardamine, Rorippa 2種、Taraxacum, ツリフネソウ、イチゴある。
- 87-9-18 5時におきて、6時に出発。1620m。
6:55am。サフラン畑。maybe to Jampee? 古いモスク、稲田が広がる。
7:13am。茶を飲む。Pahalgamに向かうが、右にDelhiに向かう道があった。
Jammu 移動民。
8:25am、2120m。Pahalgamの村。イネは2000mくらいまでである。トウモロコシは2100mに多い。他の作物はない。ごく小型の白花ツリフネソウ、Geranium紫大きい花、北岳と同じ。タンポポは小型の物がある。魚釣り、132m。lunch; 揚げ魚、バター。内臓をすべて取り、洗って焼く。Flyfishingで釣ることになっている。ガイドが特別にミミズでやってくれる。
小さな山火事が近くであったが、誰も来ないみたいであった。
-
- k87-9-18-1 別の川に移動して、ガイドがつる。5pm過ぎに現地を出て、8pm過ぎに戻る。まとめの絵図あり。俳句あり。湖水の保全についての観察。上下水として利用。上水は普及しているが、食器洗いや洗濯に使う。トイレは湖辺の小屋。
ごみも多く捨てられている。運河としての機能は大きい。店も湖上にある。低土を掬って、陸上に上げている光景も何度か見る。
サンショモ取りの動力船がある。もともと湖上生活者がいたのではないのか。
- 87-9-19 8amに起きて、11:00amにボートで帰途に着く。古い水路の街並みを通る。12:30pm、ボートつく、Aslumさんが迎えていて、途中弁当を病院に届けて、空港に行く。13:00pm空港、お茶を飲んで、14:00pmにチェックイン。16:30pmにDelhi
17pmJ H. 8:20pm、ITDCより情報、Mr. Hironaka。AirI ndia近くのTourist Officeで情報をもらう。Nagalandの許可も同じ。
他は問題なくいける。Kumaon Hymalayaは車で行くのがよい。Rajastanはインドで最も美しい州。Jasalmalは美しBikaurは砂漠の中の町。Joqurコムギを少し作っている。Sheep、camel、Uderpur 湖の町。
-
- 87-9-20 生活上の整理。
- 87-9-21 9am朝食、NBPGRに電話、10:40am頃来るようにDr. Arora。
10:15am。NBPGRに行き、Dr. Koppaも参加してDiscussion。日程表をもらい、今夜、彼がホテルに来て最終的に確Dr. Koppaは来年USSRに行くことになったが変更か。調査日が合計で13日なので、小林さんがClaimをつけて+7日を求める。
11:00am Japan CI Centerからhotelにもどる。
12:00pmにTourist Officeに行き、Assamの情報を得て、Kanishkaに昼食に行く。14:30pmの戻り、Dr. Koppaの来訪を待つ。
8pmに電話があって、明日の11amに変更になる。IHに夕食に行って、JHに戻る。

Assam行き計画を練る。

- 87-9-22 朝食で、chipが少ないと文句を言われる。
10:00am, Indian Airlineにいて domestic tableを貰う。Air Indiaにもいて International tableを求めたが、在庫がないと断られた。
2pmにJHで昼食、4:30pm、NBPGRに電話、6:40pm返信があったが、進展せず。明日午前電話しなすという。小林さんは25日の出発に念を押す。待ちくたびれるもやむをえない。後半の可能性にかける。8:30pmに夕食。
- 87-9-23 9am朝食後、Ministry of Home Affairsに行く。許可はすぐか2-3日で取れるという。Taxiで15分ほど。
JCICenter, Super
Bazarへ行く。周辺の店でインド服を買う。11:45amにJHに戻るが、Dr. Kopparよりの伝言はない。13:30pm, Dr. Aroraに電話。
Dr. Kopparは15:30pmにNBPGRに戻るといふ。16:00pmに電話をし、Dr. Kopparは8pmにJHに来た。9時まで議論して、日程はほぼ決定。9:30pmに夕食。移動計画は省略。
- 87-9-24 9:00am. 朝食後、frontでair ticketsの購入を依頼し、10,000Rsとパスポートを渡す。11:00amに担当者が来て、取れた分と
その日に取れなかった分について聞きに来た。一部変更してさいどIndian airlineに行ってもらふ。小林さんは阪本先生に報告
書を書く。13:00pm, air tickets3人分入手。14:00pm, tourist officeに行く。Assamを車で走ることには許可さえあればok。
ここでも車は予約できる。10月28日頃には出発する。再入国前後に許可と航空券を大急ぎでとる。14:30pm昼食、Garyload。
15:30pm. Hifaatという映画を見て、18:10pm終わり弁当箱などを買う。2030夕食。
- 87-9-25 体調不良。Dr, Kopparの電話を待つがないので、IAほかに行く。4:30pmに電話あり。荷物整理。
6am起床、7:40amチェックアウト。8:30amにDr. Kopparと会う。荷物を預けて、10月23日を予約する。8:30am, JHをIndian Govt. のジープで
出て、IG airportのdomesticに行く。30kg分のexcess払う。12:40pm, ボンベイに着く。15:30pmまで市内見物、昼食後、チェックイン。
Pune行きに乗る、17:10pmに到着し、18:30にホテル。Dr. Kopparは友人に会いに行く。
- 87-9-26 telegram: Dr. Seetharam. Tel: Dr. Nerkar (Dapoli) booking a car. Kopparさんの友人が旅行会社。
- 87-9-27 7:35amにKopparさんから電話。8:10am打ち合わせ。朝食、午前中は市内を見る。M. Ganjiの記念館を見る。Kopparさんの連絡を待つ。
Amir Hotel、14時に電話があったが、よい車がなく、待つ。16:40pm, Kopparさんと義兄と契約に行く。19:00pmに戻り、
20:30pm夕食。荷物の処理。
1. Plav: plao, biryani 壺に入って出る。2. Idli: 3. wada Sambar 野菜入りドーナツ。4. 手で薄く延ばし、30cm直径、
図あり、tandorで焼いて油を塗る。

87-9-28	<p>Dapoliに向かう。やっとfieldに出る。7:30am朝食、8:30am支払い。8:45am, Dr. Koppar来る。銅像の多い町Puneを出る。 7586km、620m、8:53. 牛車、大八車、4輪リヤカー、自転車、バイク、スクーター、あらゆる車種の車、歩き。出勤、登校のラッシュ 7594km、9:10. モロコシ畑8a。南に向かい、住宅区に入る。比較的涼しい。60km/hで走る。左手にトウジンビエ 9:15、700m。南に向かう。左手にトウジンビエが多く出てくる。草地に疎らに低木。ゆるい坂を登る。NH4 to Bangalore 山腹にノゲイトウが多い。 7604km、峠のトンネルを越える。ユッカが多い。小アサガオ、キリに似た木がある。</p>
k87-9-28-1	<p>7605km、880m、9:30-9:45. 左は畑、右は草地の丘。少々の水田あり。サトウキビがとても多い。水路辺に時々広い谷を下る。草地、畑が多い。ヒマワリ、niger seed, マメ類、土は赤黒い。段丘涯のような気がする。オレンジ色のこそモスがとても多い。ヤギ、牛を少し見る。タマネギ、落花生。</p>
k87-9-28-2	<p>7623km、695m、10:30. Gamthedi Village。アマランサス黄色が落花生畑中に50個体ほどあり。この近くでキビを栽培して、収穫したところと言う。小川べりの小村を通過。トウモロコシは畑の縁に少しある。落花生。トウジンビエは時々見られる。改良品種で丸い形の穂。 栽培穀物： トウジンビエ。 <i>Amaranthus</i>。 モロコシ。アワ rala、rai・tandul (アワ・めし)。 7934km、638m、10:40. 川の本流が見えてくる、橋を渡る。Nira river。グアヴァ園、ウコン、タマネギ、サトウキビが出てくる。乾燥地はモロコシが栽培されている。著しく生育不良。ヤギ50頭。トウジンビエが多く、矮性型。 7953km、770m、11:00. 段丘を登坂、薄い草地でヤギを飼っている。 7956km、947m峠、11:05. トウジンビエが最も多い、niger seed。左手に赤い <i>Amaranthus</i>。</p>
k87-9-28-3	<p>7658km、880m、11:25. 南に向かう。Kale 村。Satara district。アワ=raitandul。アマランサスは黄色と赤の2品種が、落花生の畑の中に混作されている。トウモロコシとモロコシは少ない。トウジンビエが最も多い。 7663km、11:40. Surur 村、Satara district。お茶を飲む。アワをrala・tandul という。</p>
k87-9-28-4	<p>7663km、790m、12:00. アワ、マメ類をもらう。堅杵で精白。 アワ： 6月に播く。1回手で除草する。9月中に収穫。茎葉殻は家畜動物に与える。10-20分煮て、ral・bhat にする。 ミルク、カード、バターミルクを混ぜて食べる。 トウジンビエ： bajeri ①Bhakar (ロティrotiに同じ)、②thalipit (oil roti) マメ類、クミン、塩、トウガラシ、油を入れる。Oilをつけないものを dhapati という。 12:30発。ウコン、トマト、ヒマワリ、モロコシがある。</p>

- k87-9-28-5 7667km、810m、12:50発。アワ、落花生畑中に2筆ある。黄色のアマランサス。左のトウジンビエ畑の縁にはnigerとヒマワリ。右手は改良モロコシ。
768m、12:56. サトウキビと稲田が多く見える。テント生活者が多い。町に入り昼食。
- k87-9-28-6 7676km、13:05. 週1回開かれる市場。Vegetables; トマト、ジャガイモ、ニンジン、ニガウリ、ヘビウリ、トウモロコシ、ヘチマ、ニンニク、トウガラシ、ユウガオ、オクラ、落花生。アマランサスの精白粒。マメ類、穀類。サツマイモ、緑のマメ、ナツメ、
ハーブ類、suflowerの苗を野菜にして食べる。カリフラワー、キャベツ、トウガン、ナス、サトイモの葉、アカシアのpodsはスープにする。カボチャ、タマネギ、ショウガ。レモン3品種、バナナ4-5品種、リンゴ3品種、グアヴァ。ミカン類、アナナ、サボジラ、ザクロ、ナツメ、ココヤシ。ハーブ類; anephun, dradelen。赤茶のミルククラウン流雨に。
13:40発、登坂、少し雨が降り出す。雨止み高原を軽快に走る。
-
- k87-9-28-7 7989km、1295m、14:10. 野草を採取、小林さんが野生のキンレンカを取る。雷が鳴る。Panchagani 村。雨中に車が故障らしい。すぐなおり出発。街中に入る。大雨になる。
7690km、1285m、14:30-1457. 昼食。山の草地、ヤギ。大雨で人々はずぶぬれ、気の利いた人はカップでうずくま雨をしのぐ。図あり。ゆるく下降する。
7701km、1337m、15:10. ヤギ50頭。Vandaなど出てくる。南西斜面はwetなのだろう。低木の森林地帯になる。霧に変わってきた。
7706km、1320m、15:200. 右手に湖がある。釣り師が通る。ウマ2頭。1290m。
-
- k87-9-28-8 7716km、1122m、15:35. サワガニがいた。小林さんはイワタバコに夢中で、採集。16:10、945m。サル1頭。16:17、820m、棚田。
- k87-9-28-9 7724km、800m、16:40. Kumbharshi 村。リトルミット、*S. glauca*がラギ畑および稲田中に生育。山中を下降。シコクビエは nachani。リトルミレットはvari。キビはない。アワは rala.
- k87-9-28-10 7734km、650m、17:05. フロリナ・エンティデセンテリカ(注: *Wrightia antidysenterica* (L.)R. Br?、キョウチクトウ科) 薬用にする。1つのovuleから二又分岐する。図あり。
*Hydrangea*の仲間あり。490m、17:10. 棚田が段丘面にある。
- k87-9-28-11 7737km、390m、17:13. ノゲイトウが多い。270m、17:19. 谷は水田。倒伏しているものが多い。稀にラギが出てく
7746km、165m、17:35. ラギ畑の中に、リトルミットと*E. colonum*がある。*Colocasia*が多く出てくる。
Pune 161km地点を左折する。南に向かう。
7754km、230m、17:43. 右にラギとリトルミット。左の谷下は稲田。
7762km、430m、18:00. サトイモの野生。190m、18:08. 時速80kmで走行。左右に稲田。村を通過。
165m、18:10. トウジンビエ少々。150m、18:15. 左右に水田。アワかもしれない畑が数ヶ所あった。褐色の下垂
7786km、135m、18:20. お茶を飲む。あと30kmでDapoli. ヤシが多くなる。110m、18:41.
7803km、19:00. 7815km、19:17. 19:30に大学のゲストハウスにつく。洗濯など。月曜日は21時まで節電。

7824km、238m、8:53. Botany Departmentに行く。

P. miliare=nagri。 *P. miliaceum*=Wari、Tane?。 植物学者はこの両者を混同しており、反対に認識している。

E. coracana= nachuni。 *Ech. furmentacea*と*S. italica*. 雨が多いので移植する。

*P. miliare*の育種: 早熟性、分げつ性。 ラギは分げつしない系統、Dapoli-1. A16, B11, E31晩性多収、水のある山の斜面

ではよい。 Sukhadar いろいろな段階の塾期を育種、農家の要求による。 White白が好まれる。 Brownは栄養に差があり、

消化がよい。 要望: 1. ラギ、村の人はこちらを望む。 2. Whiteラギ、町の人はこちらを好む。 Kichengarden トウガラシ。

イネが主作物で、雑穀は間作物。 間作はマメ類。 Vigna ホースグラム、マングビーン (green、blackgram) 、カウピー。

pigeonpea, 落花生 *Vigna sanguineta* 4、5ヶ月で熟す (v c m g) 。 3日間で同調的に開花、雨が多いのでこのような育種

も考えられるのか。 ラギと間作物にNを与える。 Broadcast=avatoni。 Localにはラギは直播する。 Bombayに持っていくと値が下がる。

local marketで売ればよいのだが、政府は出すことを求める。 Farmerの考えとは違う。 議論小林さんと Dr. university?。

インドでの重要性、草本 1. Mangbean、2 horsegram、cawpea。 図あり。 雑穀との間作。 マメは棒か手で脱穀。

Roti: tavaに水を沸かす。 ①ラギ粉を熱い湯でこねる。 少し冷たい水を加えて、練る。 手、指の間でこねる。 ② dough: よく

こねて、ボール状にした後、平たく円盤状にする。 直径10cm。 ③tavaの水を除き、この間両手で伸ばし、ゆっくり回転させ

ながら、直径20cm、厚さ5mmくらいに薄くする。 ④tavaの上で両面を焼く。 5分ほど。 黄銅製のこてulathana にひっくり返す。 ⑤褐色のrotiができる。 図あり。 ⑥直火に当てる、できあがる。 大学内の雑穀圃場を見る。 ラギと *P. miliare*が多い。

7832km、235m、12:00. ゲストハウスを出て、中木林中を通る。

k87-9-29-1 7835km、225m、12:06. ラギ畑の中の*P. miliare*をとる。 紫と茶色の穂。

7839km、192m、12:30. Gloriosaあり。 小面積の水田。 アレカヤシが多く、バナナは少しある。

k87-9-29-2 7840km、205m、12:45. 山の斜面、hibiscusの種子を小林さんが望む。 昨夜の道の褐色の穂はアワではなく、であった。 カシューナッツ、ジャックフルーツの木がある。

7847km、245m、13:00. 大学のブランチ、Experimental Station at Makawali. Officeの人々は昼食に自宅に帰っている

ので待つ。 インドの西海岸、4000kmの海岸線。 湿潤な空気がGhats=Hillに当たり、雨になる。

staffの家で調理参加。 ①コメ粉を水で練る、roti。 ②ラギ粉を熱いお湯でこねて、rotiにする。 ③*P. miliare*の精白粒に赤

トウガラシの粉をまぶして煮たもの。 めしになる。

13:40発。ラギ、*P. miliare*畑。左右に小さな水田。おねりは作らずに、ragi rice, roti を作る。
谷筋の水田地帯に行く。稲田に隣接して、ラギもある。
7857km、110m。川を渡る。

-
- k87-9-29-2' 7860km、100m、13:53. ランの写真を撮る、種子がついていて、大きな株が多い。街に近づく。Konapurに向かう。
7863km、14:05. Dr. Kopparが郵便局で手紙をDr. Seetharamに出す。*Colocasia*が多い。小学校が終わったようだ。
7865km、115m、14:42発。昼食。川を渡る、NH17. 35km to Chiprum. 上り坂。綿の花に似た黄色のちょうちん型
花が一带にある。*Deoscorea*の大きな葉が多い。ラギ畑に*P. miliare*少ない。穂刈している。260m、稲田はない。
7878km、270m、15:00. 草地に中木、果樹か?時々、niger seed、ragi、*P. miliare*が混合している畑あり。稲田も見
る。
7884km、15:01. 平地、水田が多い。緑の草地が広い。15:10、右に川、Chipalum. 両側に水田。棚田もある。
-
- k87-9-29-3 7892km、135m、15:15. 滝のところで、小林さんは石拾い。*Deoscorea*のむかごを取る。NH17を東に向かう。イネは
出穂し始めている。野生イネはない。
Chilumまで6km。川を渡る。7899km、117m、15:38.
7901km、Chilumに着く。NH17を通過。ラギに*P. miliare*が入る畑。小さい湖。
- k87-9-29-4 7906km、145m、15:50. *Echinochloa colonum*=pakad 200年ほど前まで、bhakar(rotiのこと)にした。
P. miliare=sama、薬として粒を手におく。Bhat、bhakarにする。
ラギはbhakar、6月に播いて、9月に穂刈。イネはbhat、bhakarにする。
polya は塩と甘い料理。砂糖とココナッツを包んで焼く。 Bora は甘いパンケーキ。 Senga はチックピーと
jaggaryを混ぜた
お菓子。Boraと同じようにしてから蒸かす。Ambil (=ganjiに同じ物)、沸かしたお湯に粉を入れる。
Kamthe 村。Ratnagiri district。草刈するとすぐに乾くので、焼く、その後ラギを播く。2-3日で発芽する。ラ
ギは菓子工場で
ビスケットにしている。16:20. NH17を南東に向かう。棚田が多く、ragi+samaは時々出てくる。Niger seed。
7924km、195m、16:51. Panjiに向かう。
水田とragi+samaが多い景観。雷は毎夕あるようだ。5時半から8時半頃まで光る。雨は一時的に激しく降る。
7942km、17:10. Swar? 茅葺、土作り農家が点在する。川を渡る (Shastripur)。右折して川に沿って走る。
7947km、115m、17:15. お茶の時間。あと45km、川に沿って走る。Panji 277、120m、南に向かう。水田、まれに
ラギ(+sama)。境界がラギで示してあった。集落は山腹にある。河岸是水田。稲は一部収穫している。
7965km、135m、17:51. NH17. 景観の図あり。イネ水田に混ざって、シコクビエ畑 (水田) があって、ここに
*P. miliare*が
混作されている。改良品種のようで、変異は少なく、かなり良好なものの様である。シコクビエも普及が著しい。
両者が
boderに植えられているイネ水田もいくつか見られた。
238m、18:00. 海に近づく。雨後の道を守る。イネ収穫。鬱蒼とした林の中に家が点在。
-
- k87-9-29-5 7973km、282m、18:14発。夕立、雷が来る。水田中にも雑草*Echinochloa*あり、無芒。Samaは畦に多い。Ratnagiriに
向かうが、大雨と雷で、道がわからず、他のゲストハウスに泊まる。

87-9-30

7992km、19:30. 海岸縁になる。車のライトが故障で、行動が困難、雷の光で走行する。小林さんがフロントガラスから

外を懐中電灯で照らす。20:30夕食に外に出る。ライトは修理済み。23:00議論して寝る。

晴天

7時におきてベランダから見ると、海が目前で美しい海岸がある。標高は80mになっているが、実際は5-10mである10mに調整する。

7996km、0m、9:00. 海岸にマングローブ発達。すぐに左折してShilgaonに向かう。

小さな水田。ヤシ、中木林。

7999km、9:08. 大学農場のbranch、Ratnagiri.

ラギnachani or Ragi とvari (キビと言うが間違い、サマイ) が主な雑穀。Rala (アワ、kangooni) 、kodo (*Paspalum*) kodra.

文献によるとOrigin: vari is a ...Central Asia, Egypt and Arabia. Hill millet. TN, K, AP, M, MadhyaP. とあるが、内容から言って

variはキビではなく、*P. miliare*のことだろう。V. G. Vaidya, K. R. Sahasrabuddhe and V. S. Khuspe. Crop Production and Field

Experimentation. Continental Prakashan Poona 30.

トウジンビエはbajri。モロコシはjowar。コドミレットはharik、Wildspeciesと畑中で混合して生育しているweedy plant。

vegetalianはshakahari という。Maharashtra Agricultural University. 赤色のマンダリンジュースを飲む。

Maharashtra州のriceは主な8品種。多収性。Dhudは主要雑草。

10:17発、センター。Ratnagiriのcity centerに入る。10:25、魚の干物にはウコンがまぶしてある。サツマイモが多い。

8005km、27m、10:30. Exective Engineer North Ratnagiri Division copyを取りに来たのか、男女2名を載せる。

10:43、袋とアルコールの買い物。ゲストハウスの移動。新聞紙。写真に銀行が入り警察にとがめられる。ウリを買う。

k87-9-30-1	8012km、70m、12:00-12:23. ライトの修理。道端、hibiscus、イノコヅチ。
k87-9-30-2	8017km、124m、12:40. 道端の水溜りに、 <i>O. rufipogon</i> . 水田の用水にも生えている。ラギの畑は少なく、vari(サマイ)を混合している。
k87-9-30-3	8024km、187m、12:53. Rout49 Kanagiriから左折、NH17をBombey方向に向かう。Kolhapul/Goa方向にはいかない。左折してGilgaoに向かう。13:00. Semiarid. Niger seed, ragi(+same) samaもある。
k87-9-30-4	8037km、205m、13:08. ラギ畑、アワ2個体、same、sesam、hibiscusが混合。案山子男女1対。niger seed、wild foxが出る。穀物畑は石で囲ってある。小村を通過。14:36. テント生活者もいる。
k87-9-30-4	8043km、205m、13:50. ラギ、イネ、の中のsamaを採集。野生イネpoolにある。Sameだけの畑もある。土壌の薄いhill。

k87-9-30-5	<p>草地。8057km、85m、14:07。 8059km、15m、14:14。政府の保養施設のレストランに来たが、休み、15:37発。お寺。ココヤシを飲む。 岩が多く、丘の上では土壌がなく、何も栽培されていない。石の土手は動物防御と土壌流出防止。 畦にはゴマ、ラギ、サマイを作っている。</p>
k87-9-30-6	<p>8070km、182m、15:52-16:10。水田畦のサマイ、ラギの辺りにもある。 ラギ粉のbhakar の作り方： tavaで焼く。今までと同じ方法。7人子ども、+夫婦、長女がよく働く。ラギの乾いた粉をひき、 その上で、手で回転しながら、平たく広げる方法、図あり。両面焼くが、水をつけて焼き過ぎないようにする。 農家で聞き取りをする。Jakadebi Khalagaon 村。Konda Balaji Akare氏 Deobath：野生イネ、芒が長く、色がついているので、栽培イネと区別できる。 Harik：ここではkotchaと呼んでいるが、<i>Paspalum</i>の野生種のこと、葉の幅と長さで区別できる。 秋の作業： ラギの穂を切る。6月に播き、7月に移植している。 <i>P. miliare</i>：肥料はばら撒く。棒kathi で穴をあけて、女性が種を入れていく。12-13日で発芽、20日すればすべて出る。 Rice： 6月末から7月初旬に移植。線を引いて植える。1ヵ月後に肥料を与える。11月にラギとサマイを収穫して、脱穀する。 新年2ヶ月は仕事がなく休み。父親の権威は著しく強い。 鎌かけ akud(i)。かま vila または adosa。脚絆 paipatti。へびうり padaval。 17:35発、低い山のあたりを通り戻る。</p>
k87-9-30-7	<p>8093km、191m、18:00-18:20。ガス欠。むかごとランを採取。すぐそばにGSあり。ガソリンを入れてから、茶を飲む。 案内してくれた人は Mr. R. C. Joshi。 19:00ゲストハウス。20:30となりのBihar Deluxホテルで夕食。標本を整理して、23:00に寝る。</p>
87-10-1	<p>6:30に起床、8:00お茶のあと朝食。Dr. Koppal談： 海浜に生育していたマメ、<i>Ocimum santum</i>； 茎・葉の中に制癌剤が入っている。宗教的なことで、地域的には食べている。茶に入れて飲んでもよい。 <i>Crotraria saltiana</i>； 薄紫色で、耐塩性。30m海からのところにも生える。Podが下がるか上がるかのkeyがあ</p>
k87-10-1-0	<p>BombayやPuneとHyderabadが南北インド料理の境界になり、北の人はdosaを好まない。Idliにはblackgramを加え 8111km、40m、9:32発。すぐに左折、町の中の路傍、ゲストハウスの近く。海岸線を走る。ウシ、ヤギ放牧。 大型のハマヒルガオが多い。</p>
k87-10-1-1	<p>8114km、20m(実際は7m)、1000。海浜。<i>Crotraria saliniana</i>、<i>C. celisia</i> を採集する。Kantaraba bellplant 乾くとpodなる。 Hill areaに登る。スイギュウ、ウシが草を食む。非常に薄い土壌の上に栽培されているラギ。石垣は土壌流出を防ぐ。</p>
k87-10-1-2	<p>8119km、38m、10:09。riceは天水田。野生イネが水溜りにある。Deo・bhat野生のイネの意。食べない。栽培イネは</p>

myari・bhat という。Orissaでは野生イネを採集しているらしい。ここでは脱粒性が著しいので、採集しない。神のくれた雑草。

10:25. 発。海岸段丘上の水田地帯。イネは株がりされていた。所々に5mくらいの小さな溜池がある。用水として用いているのか？小魚がいる。ラギ水田もある。

k87-10-1-3

8122km、45m、10:40. Gorapur村。栽培作業中の農婦に聞く。アワには2タイプがある。①長大で、ゆるい穂。②少短くて細い。アワkangの利用法：脱穀 — 精白。Bhat. Siraは砂糖と混ぜたお菓子。Rotiは作らない。6月に播き、10月に

収穫する。理想的なキッチンガーデン、サボジラ、カシュー、マンゴ、ココヤシ、マメ、アワ。巨大なキュウリある。猫がいる。

茎は野菜として食べる。大アロエもある、民間薬、kuwar 子どもの風邪薬。砂糖を加えて飲ませる。

11:02発。すぐに小さな町に入る。サドルカンでウコンをひいていた。魚屋がある。—20mを示している。キュウリはとげがあり、

*C. melo*にはない。

k87-10-1-4

—19m (0m)、11:20. ココヤシを飲む。*Paspalum*の野生種を取る。非常に苦いので、薬にする。Fruitsのことを bagaira

Alfanzo Mango大きな実のmangoの山地。1個250Rsもする。ココヤシ10個で50Rs. Pawasrigaon村、川の名前に由来。

8128km、12:20発。ウシも人も水泳。川で洗濯など。

k87-10-1-5

8129km、13:15発。寺 Swarpawas. Philantusの緑のみは酸っぱい。ピクルスにする。氷砂糖と聖油をいただく。

食事は無料だが、寄付はする。人よけにユーフォルビアのとげ有が植えてある。Ratnagiri dist. 草地と低木疎改良モロコシが人家の近くにある。

k87-10-1-6

8143km、190m、13:30. Chandul村。ラギ、サマイ、イネの単作。サマイはlocal typeだが、水田畦にあるのは恐ら改良タイプ。草丈が高く、穂が大きく、よく稔る。褐色が濃い。穂は密度が高い。Localtypeは疎穂型となってい

k87-10-1-7

8145km、200m、14:30発。サマイのbakar. seraはまれ。bhatは粒が固いから作らない。Ambli

Nachuni: bakarだけ作り、mudeは作らない。シコクビエの棚田。モロコシは少ない。Niger seedは多い。

k87-10-1-8

8149km、222m、14:40. ラギ、localサマイ畑。 *S. glauca*が少し混入している。

15:00、すでに雷雲が出ている。低地には稻田、畦マメはmangbean. NH17を南に向かう。Deodeに向かわずに右折す湿気った風が吹く。

k87-10-1-9

8161km、145m、15:12. Office of the Supeintendent Agricultural School, Lnaja. 説明を聞いて、コーラを飲む。

scoreが着て少し休む。16:38発。近くのLodgeに入る。17:00—20:00. 整理など。2300に寝る。

87-10-2

630に起きる。

8165km、116m、8:26発。大雨でイネが倒伏している。ラギ畑の中にサマイが少しの状態が続く。niger seedはほぼ熟して、

枯れたにおいがする。中木林が続く、その中に、時々ラギ畑。街路樹には多くバンダがついている。イネは大半が倒伏して

- いる。夕立のせい。雨季が末期、*Deoscorea blubifera*が多くある。休閑田と草地が多い。小さな川を渡る。イヌが多く飼われているのは、イノシシが出るからと言う。
- 8180km、110m、8:46. ゆるい起伏が続く。山裾に棚田。図有。曇りで涼しい。木のよい匂いがする。NH17をさらに南下する。
- k87-10-2-1 8185km、150m、8:53. Onie村。サマイを採集。この地域には山ビルがいるらしい。*Vigna* sp.のoriginal centerとKopparさん
はいう。変異が高い。9:16発。竹の小藪がある。ユーカリの植樹10年。水田は灌漑もされている。
- k87-10-2-2 8190km、153m。棚田が丘の上まである。
8194km、70m、9:30. マメ類、キュウリ、*Groriosa*を採集。
Panjmの町に向かう。祭日で、マンゴの葉とマリーゴールドを家や車に飾っている。
cawpea(wild)はpinkの花でpodsが付いていた。Brumoa図有。Mordica, bittergoldの栽培、皮をむいて食べる。甘
Ajab川を渡る。NH17,草地、果樹園、*groriosa*、黄色のランプ花、白い葉のオレンジ花などがある。
草地が多く、稀に水田がある。
- k87-10-2-3 8209km、70m、10:30. 稲田が出てくる。ゴマ畑3a。
8213km、11m、10:34. 水田の中の野生の花を収集する。川辺の水田地帯.狭い谷間、バナナは稀にある。
ココヤシは海浜にある。丘には少ない。10:53-11:13. 休憩、朝食。小雨降り出すが、晴れ間もある。ウシ20-30
サマイ畑2a. 水田、丘は草地。
- k87-10-2-4 8220km、59m、11:18-12:00. Wild sesam -korai. サマイ採集。水田の畦のみ。Nariguia 村, Kankunli dist.
C. melo 2種栽培、草地の低いところに稲田、ヤシ苗圃ある。マンゴは多い。少女がウシを追う姿がかわいい。
89m、12:04.
- k87-10-2-5 8225km、100m、12:06-13:00. Saliste 村。コンニャクが自生。マンゴの種が山積み、発芽しているものもあつ
草原が続く、稲田が多い。イタチのような小動物がいた。
- k87-10-2-6 8230km、111m、13:05-13:19. Kankauliまで22km。 Talera 村。クロトラリアのpodsをとる。イノコズチ。雨が降ってきた
がすぐに上がる。草原に行く。X x 読めない。
8253km、46m、13:45-14:30. 小さい町に入る。Kankauli. 昼食をとる。
①sabji キャベツとイモのカレー和え。②dal マメ汁。③sambar ニンジン、マメの辛い汁。④achal ピクルス、レモン、マンゴ。
⑤roti。⑥bhat。⑦タマネギにフレッシュ・レモン。
川を渡り、Sauntwari へ南東に向かう。雨が続く。稲田。
- k87-10-2-7 8256km、50m、14:37. Kabal まで12km。南方向。中木林の丘を越える。人家にはバナナが少々ある。
8262km、60m、14:43. 右に湖がある。
8263km、60m、14:45. 野生イネ、水田となりの溜池でクログワイを採集。
- k87-10-2-8 8267km、15:10にT字路をPahajiに向けて直進。
8268 km、69m、15:25-15:42. Kasal 村。シヨウガ科 sp、クログワイを採集。

水田ばかり、野生イネを多く見る。ラギやサマイはまったくない。Wildサトイモは人家の周辺の溝のところに生えている。

少なくとも人里植物になっている。人為的に植えられている可能性もある。野菜として葉を食べていることもある。葉柄が

緑と紫の2種類ある。

k87-10-2-9

8274km、27m、15:50-16:22. クログワイの写真取り。水田ばかり、バナナ、ヤシが出てくる。

やっと、サマイの畑が水田中に2aあった。

8278km、33m、16:26. Pandur 村の十字路をGoa方向に向かう。川を渡り、小林さんは釣りの写真を写す。

Karnatakaのdriving parmitionがいるらしい。ほとんど稲田、ごく稀にラギとサマイ。ヤシが増加、海が近いのだろう。30m。

野生イネ、芒は白が多い。赤いhibiscusも多い。イネばかりで雑穀はない。図有。

8298km、83m、16:56. 稲田が続く。17:02稀に畦にサマイがある。

8306km、118m、17:14. 町の中に入る。

8307km、114m。Government gesthouse、別のゲストハウスに来ることになったが1部屋しかなく、Kopparさんも同室。

20:40まで休み、夕食。23:00標本整理後に寝る。

87-10-3

700に起きる。準備、茶。Sawantwadi 小さな湖水のある町

8316km、106m、8:30. 発。

教会がある。水田、ココヤシ。NH17を南西方向に走る。人家周辺にバナナ、パパイヤがある。

8329km、8:45. 二又をBombey方向に向かい、昨日のルートに戻る。ユーカリ並木、燃料にする。南ではoilを取り葉にする。

8338km、23m、8:53. T字路をPingliに向かわないで、直進する。雨上がりである。すぐに、Kudalに向かわないで、Bombay

方向に右手に行く。Mombay Goa Road。

8338km、14m、8:58-9:45. HotelRaajで朝食。昨日通った所。水のあるところは稲田で、雑穀はない。野生イネが水溜り
にある。

8353km、40m、10:00. 小雨。左手に川。

k87-10-3-1

8369km、32m、10:17. 水田の縁にあるサマイをとる。この付近にはあまり栽培されていない。先端しか熟しておら
しかも改良された草丈の高い品種である。大雨でずぶぬれになる。

8371km、40m、10:39. 北西方向へ。川を渡る。小学生、緑のスカート、ズボン、青もある。自由な私服もある。
村の中心を通過。

8373km、40m。川を渡る。水田が続く。雨降りでもウシを歩かせねばならない。

8379km、60m、10:51. Ponda 11km。二又をbombay方向に行かずに、右に行く。野生イネがある、比較的広く開けた
水田地帯。野生イネとても多い。草地中に稀にragi, niger seed。丘陵地に入り、x xはない。Ponda町に至る。

8394km、122m、11:07. 水田が続く。Hibiscusうす黄色花が水田畦。左に稲を見ながら坂を上る。

- 草地に中木林、左の谷は水田。
- k87-10-3-2 8397km、330-380m、11]18-11:30. SH 53ルート。霧に変わる。ごく小さなキュウリ。ツユクサ、小さな白ピンクツリフネソウ。霧雨の中を引き続き、登る。林床に白花ショウガがたくさん生えている。
8402km、530m、11:46. 霧で対面の山は見えない。湿潤地域の植物が多い。幻想的でよい。野生のcawpeaあり。ピンク花。
8409km、600m、峠か。20戸ほどの村がある。左に大きな湖。周辺は草地。SH 53は南西方向に下降。右は中木林、下は多い。湖面で570-580mくらいであろう。湖の真ん中の橋を渡る。野生の*Alocasia*が人家近くに生える。Ipomoea 小さな花、つる性がある。湖を背に進む。
8414km、700m、12:07. 水田少しある。林中を通過。送電線、770m。下草は多い。原生林とは思えないが、典型的な植生であろう。シダは5種くらいで少ない。
- k87-10-3-3 8422km、770m、12:18-13:25. 豆取り、大きなラン、トラノクチ。Mandarwadi 村。野生植物を多く採集する。村に入り、niger seed、草地が多い。ワラビが多く出てくる。790m、前に湖。草地性のランが多い。白から薄い紫の花の色。
8428km、660m、13:33. 右手に滝。Dam. 棚田、ラギは少しある。
8430km、560m。サトウキビが多い。バナナもある。村の中心を通過する。
- k87-10-3-4 8433km、558m、13:43. 水田中の縁の、サマイを採集。イノコズチ、ミズヒキの別種、種を取る。
8435km、14:15-14:35. 昼食。Bonda、中にpigeon peaを入れた球形のパン。竹は大きな藪にならない。平地にな
Kolhapurに向かう。標高図あり。
- k87-10-3-5 8439km、650m、14:44-15:20. 棚田の上部。**Wari:栽培のサマイ**、雑草型には地方名はない。Gabat=雑草。
Ga (I)BI 村。改良モロコシ畑の雑草として、野生サマイと*S. glauca*あり。近くに*P. miliare* 1a畑有。脱粒性著しい。
イネ、niger seed。モロコシ jowari からは bakarしか作らない。
ラギにサマイの種を少し混ぜて、6月に播く。1ヵ月後に除草。肥料は与えない。10月初旬に株刈り。Nachuni は bhakar。
サマイのほうが早く熟すので、先に収穫する。サマイ wari の擬態には気づいていない、bhat と bhakarを作riceはbhat、(ambilは作らない)。
隣村、Kudutri, Kapur dist., Kolhapur。15:38発。SH 61. 改良モロコシがとても多い。野生ゴマが道端にあ
8446km、615m、15:44. 稲田、サトウキビがほとんどになる。580m。Kolhapulはインドで最良の砂糖を生産する。野生の
Sacchalum sp. あり。左手、川に沿う。
- k87-10-3-6 8454km、570m、16:00. Kolhapurに30km。Pariteに7k m。水田の縁のウリ採集。イネとモロコシの脱穀中。ヒマワ
少しある。570m。人家の周りにバナナ、ヤシがある。小さな町の中を通過する。掘っ立て小屋は土器作り、物
作っては
移動するのであろう。130ルート、サトウキビが続く。
8472km、590m、16:30. 栽培地の図あり。モロコシは穂刈している。ヒツジ300頭。市郊外にいたる。

右、湖のほとりの宮殿。ホテアオイが多い。市内に入る。鉄道をわたる。トマト、カリフラワー、ナス、キャベツ、リンゴ、guava、バナナ、アノナ、サポジラ、オレンジ。
8487km、575m、16:58. Govt. ゲストハウスは休みでほかを探す。
17:20. MahaRaj の隣のホテルに泊まる。

87-10-4

朝のうち、曇り小雨、Kolhapur のホテルは2泊する。
6:45起きてお茶。8:40朝食。
8508km、545-560m、9:00発。ココヤシ、トックリヤシは飾り。右手にKolhapur Universityがある。
町から出て、Bombay方向ではなく、Bangalore方向に右手に向かい、すぐT字路をNH 4でBangalore方向に進む。
草地の中にモロコシ畑、改良品種が多いが、少し古いタイプも混ざる。サトウキビも多い。Ipomoeaの灌木、ピンクの花、
edge plant として利用。イネは少ない。モロコシは穂刈する。ヒマワリはとても多い。水田の境界にも用いる。
毎日曜日に市場が開かれて、20-30kmから農夫が集まる。モロコシの在来品種には砂糖の含量が高い物もある。
8523km、567m、9:33. 左に池。ほとんどがサトウキビ、その合間にイネが少しある。休耕地は草地。前半、春収穫のイネ
を栽培しているのだろうか。

k87-10-4-1

8526km、550m、9:40. 農家での聞き取り：
モロコシjowari にコリアンダーを混ぜて播種する。2期作。尿素を与える。これは落花生が発芽後に播く。
NH 4から戻って狭い道に入る。Local bus roadと思われる。左手に草地とモロコシ、サトウキビ。右は草地がほとんどで、
少し稲田がある。Cajanus cajan畑にノゲイトウが多い。niger seedは少ない。Sorghum halepenseあり。
Pigeon pea とモロコシの間作がある。落花生もある。

k87-10-4-2

8535km、540m、10:12. Sidhnerli 村。Amaranthus, ラギ、モロコシがイネの中にある。ラギはごく少ない。
8536km、530m、10:29. 右折して西に向かう。

k87-10-4-3

Ekondi 村
wari、インドビエ、サマイと同じ呼称か。イネtandul 収穫後、7インチ間隔で移植する。穂の下で刈り取る。
家畜に与えるために後で株を刈る。6月に播き、9月15日に収穫する。播種1ヵ月後に、手で除草、無施肥。
sankari・wari は雑草の意。Weed (pakad) との区別。Ech. colonaは茎が細い。栽培型は茎が太く、葉が長い、幅が同じ。
(サマイも同じように栽培する。9月末に収穫したところ。3ヶ月で熟す。尿素を少し与えるところもある。)
料理： bhat と upit にする。ウプマは時々つくる。Ambilは作らない。ヒンドゥは1日と15日に、2回食べる。
雑穀を食べて
稲を食べない。
イネからは bhat, Bhakar(ロティ)、ambil。ラギはbhakar と ambil。ムデは作らない、idli, dosaもない。

朝はbhat、夕方はbhakar。いつの時期もいつでもこのパターンである。Ambilは週に1, 2回食べる。コリアンダーを入れる。

バターミルク、ターメリック、塩、ニンニク、コプラも入れる。熱いお湯で練る。

村を抜ける。11:15. ラギや大豆は少ない。モロコシとサトウキビが多い。

k87-10-4-4

8540km, 541m, 11:35. Nandagao(n) 村。

緑と赤のchenopod。飾りと野菜。黄色のamaranthもある。

Eleusine indica は nachani。栽培とは語尾が一字違う、Nachana。Ear head が違うから区別できるというラギのmodak; 粉を練り、丸めて、中に甘いものを入れて、蒸かす。

緑のサリーの女性が多い。

k87-10-4-5

8544km, 585m, 12:25-13:00. Dindnerli 村。

アワの苗条ある、1ヶ月くらいか。トウガラシ畑に点播されている。20cm間隔。アワrala の種は入手できなかつサマイは収穫後でほとんどなし。

右折して、Kolhapul に向かう。660m。草地。谷にイネ、モロコシ。モロコシが稲田の縁取り。トウジンビエやヒマワリは稀。

ウマが稀にいる。*Sorghum halepense*少しある。カワセミが時々いる。

k87-10-4-6

8555km, 600m, 13:20. *Amaranthus*, *Echinochloa* sp. 水田の畦にCoixsp.が叢生していた。Kopparさんは *Andraopogon*

と言うが、Coixと思う。*S. glauca*採集。14:10-15:00、ホテルに戻る。昼食、

8563km, 15:00. 市場に行く。街中はかなり込んでいる。イネはととても多い。コムギはある。モロコシはかなりあタマネギ(白、紫、大小)、ナス、オクラ、ジャガイモ、ニンニク、キャベツ、カリフラワー、ヘチマ、サツマイモ、マメ、

レモン、ザクロ、リンゴ、ミカン、グアヴァ、トマトはかなりよい品質、マクワウリ、ショウガ、トウガラシ、モヤシ5種。ユウガオ、

小ピーマン、トウガン、ニガウリ、落花生。コプラ、葉菜数種。

8565km, 16:18. Driverの友人にお茶をもらう。種屋に行き野菜を買う。

8567km, 16:45. Market area. -17:30. 買い物、お参り、鎌と薬缶を買う。皮草履の産地だという。-18:30. 標本整理。

20:30夕食。荷物の処理。ボウシをレストランにおいてきた。*CoComirethraceae*?の大きな花は腹痛に聞づらい。

masara bhat は野菜ピラフ

87-10-5

Puneに向かう。645に起きて、830までに朝食。

8573km, 530m, 9:05発。NH 4を北北東に向かう。見渡す限りサトウキビ、イネやモロコシは少ない。

8579km, 515m, 9:15. で右折してSH 49で東に向かう。Pigeon peaもある、オクラ、落花生。緑のサリーが多いの昨夜行った寺で売っているからであろう。三角形にたたんで売っていたのはスカーフかもしれないが。

*Sorghum halepense*が畦にある。モロコシはととてもたくさんある。市郊外に出る。ワタやトウジンビエは少ない。

大半がモロコシでサトウキビはなくなる多くが改良品種で在来は少ない。

- 8590km、550m、9:28. 畑作地帯。Amaranthusはとても少ない。ヒマワリも少ない。ヒマの畑ある。オレンジのターバンと
白のネルー帽、ターメリックの畑。タバコは少し。
- 8609km、585m、9:38. モロコシとniger seed、ヒマワリ、タバコ畑。トウジンビエ、
8610km、鉄道をわたる。サトウキビ、モロコシ、落花生。
- k87-10-5-1 8602km、562m、9:45. 白い花の名 nisi・gandh甘い・匂い、サトウキビ畑の路傍に咲く。モロコシとトウジンビエが多い。
bajeri, jowari。飾りにヤシが少しある。
8612km、515m、10:09. 8613km、Majai 10km。ヤギ50頭。鉄道の下を通過。Krishna川を渡る。
Krishnaは男神、Krishnar は女の子の名前に使う。川の名は普通は女性。
ダイズ畑、池にガマがある。市内に入って右折。
8620km、508m、10:20-10:40. 寺参詣。ブリキの舟がある。ロバ、スイギュウ、ヤギ、ニワトリ。Krishna川をまた渡る。
SH 49, Ashata まで16km、8626km。サトウキビがとても多い。ごく稀に、トウモロコシ。タバコ畑は草丈30cm。
ヒマワリ、ダイズ。バナナとブドウは少ない。ターメリックの畑。トマト。ヒマワリの畑がとてもきれいである。
8638km、520m、11:00. ヤシの小プランテーション。Maize畑。Sorghumは多い。
Ashata 4km、8639km。モロコシの風選をしている。
- k87-10-5-2 8641km、519m、11:02. *Amaranthus*, *Setaria italica*。
8643km、12:00発、お茶。水の味が悪い。薬缶のせい、水が悪いのか？
- k87-10-5-3 モロコシ、落花生、ヒマワリ、サトウキビ。稲田は稀。*Nicotiana tabacum*はNirgilsで栽培。別種。
8647km、534m、12:04-12:11. Islampul 14km, route59. Vavachi 村。シコクビエを採取。
サトウキビ、モロコシ、落花生、ヒマワリ。トウジンビエとトウガラシは少ない。ここでは間作は少ない、水条件が安定している
からだろう。ほとんどモロコシばかり。短、長稈あり、品種は多いが、改良された物であろう。
- k87-10-5-4 8658km、543m、12:45. マメ、イノコズチ。右の街を見る。映画館もある。モロコシがとても多い。テント生活者30張り。
8665km、12:56で右折して、NH 4に入る。モロコシ、サトウキビがほとんど。Karad まで24km、8669km。
13:00にNelreを通過する。稀に稲田がある、565m。
8674km、Puneまで180km。ヒマワリが水田の畦にある。
- k87-10-5-5 8683km、550m、13:30発。Vathar 村。
稲田の縁に、*Echinochloa frumentacea*とヒマワリがある。水田中には野生の*Echinichloa*。
畦にも*Echinochloa* sp. および*S. glauca*が生育。
- k87-10-5-6 8686km、550m、13:46. Nard (a) 村。
アワは rala : bhat, upit, ambul にするが、bhakar にはしない。
インドビエは wari : bhat と upit mixed {塩、chili powder、green chili、potato、gerlic、コリアンダーとカリリーフ}

を作る。①oilを入れて炒める。②水を加えて、煮る。③*Echinochloa furumentacea* の穀粒を入れる。maizeは時々、1aほど出てくるが、少ない。モロコシ、サトウキビ、イネが主要作物。人家にバナナ、ココヤシ。8689km、Puneまで165km、Kahd 5km、13:52. Malakapur 方向に入る。8691km、560m、13:55-14:50. hotel Sagar で昼食。NH 4を北上する。Koyha川を渡る、8692km。サトウキビとモロコシがほとんど。1962に大洪水で、数千人がなくなった。*Amaranthus*ある。畑の縁にヒマワリ。まれに稲田、自家落花生などは換金作物とする。落花生畑の中に、赤と黄色の*Amaranthus*が時々出てくる。まとまった畑ではない。8700km、579m、15:00-15:30. Vahagaon 村。8699km。変異が高い*amaranthus*を採取。アマランサスは炒って、砂糖、水、jaggryと混ぜて、丸めてLaddu にする。赤や緑の葉は野菜にする。*Zea mays* Makka. 焼いて食べる。粉にして、makkachi bhakar にする。トマトを箱詰めにしてPuneに送る。サトウキビ、モロコシ、落花生、間作にヒマワリ。水田の縁に*Sorghum halepense*ある。8709km、582m、15:40. Umburat 町を通過。モロコシばかりになる。落花生、niger seed, ヒマワリは少な畑によってはノゲイトウが密生。子どもがサトウキビの稈をかじっている。8718km、600m、15:47. Kashil 村を通過。トウジンビエも間作で少しある。間作はある程度見られる。テント生活者、40-50張り。8726km、Puneまで130km、15:55. 落花生の畑の中に、黄色の*Amaranthus*がある。小さな川を渡る。曇りだが降らない。かなりトウモロコシがある。トウジンビエも間作されている。Puneまで120km。左折、雨が降8736km、666m、16:21. 小雨、丘をゆっくり登る。草地になり、作物は減る。峠は710m。Satara 大きな町に入る。テント20張り。モロコシが多く、サトウキビはないか、ごく稀。左に、灌漑用水。8754km、16:42、Puneまで100km。サトウキビ、モロコシ、ウコン、*Brasica* sp. 8758km、655m、16:46. Anewadi 村。 *Amaranthus*の下垂型。黄色の花で、いくらかまとまって栽培されている。サトウキビが多い。8761km、652m、17:15-17:35. Udtare 村。 アワrala がモロコシ、マメ畑の縁にある、穂は短く、芒が長い。サトウキビが多くなる。トウモロコシもniger seedもそれほど多くない。8764km、Pune まで 90km。 ウコンの畑、黄色花*Amaranthus*, 稲田。モロコシが多い。川を渡る。野生の*Pennisetum* sp. 草丈2m以上。バナナ2a。ウコン、ヒマ。Pune 85km。 路傍にテント住民10張り。農業の手伝いであろうか。小さな竹やぶ。人家にパパイヤがある。ターメリックが増えてくる。8777km、740m、17:52-18:05. Dapoliへの分岐点に至り、同じ店で茶を飲む。8782km、Puneへ72km。間作が多い。霧が出る、ゆるく登り、峠は870mで、下る。左手に平地が見える。大河か湖? 8786km、770m、18:16. 下る。夕陽は残照。8855km、19:48. hotel Amirに着く。夕食、ビールを飲んで、久しぶりにお湯のシャワー、寝る。

87-10-6

700に起きる。朝食。Puneは4日間大雨であった。8902km、500m、8:37. College of Agriculture 創立は1907. Pune University前を通る。Traditional University. 総合大学で

- 工学部も入っている。農業大学は別に独立して創られている。1976以降にこの制度になった。
- Karjat まで90km、(Bombay とPuneは 972km) SHとNH 4の2ルートがある。SHで行って、Agr. Res. St. のスタッフ情報を得て、村を見る。左折して、Parianpurに向かう。
- 8916km、9:00. 市郊外に出る。モロコシが少ないが出てくる。イネ、サトウキビ。左にPune川。3 x 2mブロックに区分けした
- タマネギ畑がある。モロコシが多い。落花生、サトウキビ。SHをBombay方向に向かう。モロコシと落花生がほとんどサトウキビが多めに出てくる。たぶん小作人の家が5-10戸。
- 8930km、553m、9:22. 再び、NH 4に入る。右にBombay行きの鉄道。丘に入り、草地が多くなる。
- 8936km、560m。テント6張り。Telegaon 町を通過。
- 8938km、9:32. Vadgaon まで3km。稲田は少ない。
- 8944km、Kimsetまで7km。モロコシ、イネ、*Coix*らしきものあり。水田が多くなる。低い峠にかかる、580m、9:45. 右に川と鉄道。山足にはほとんどイネ。右に流れている川と、鉄道をわたる。
- k87-10-6-1 8956km、550m、10:25. 水田の縁の用水中に*Coix aquatica*がある。前に取ったのは*C. gigantia*であろう。Kalrai 町を通過。
- 8964km、Lenabaraまで4km。右に貯水池。
- k87-10-6-2 8965km、561m、10:46発。水田の縁にマメ科2種。*Coix* sp.未開花。左に鉄道。
- k87-10-6-3 8973km、500m、11:00. 道端にツユクサ。滝を写す。
- 8978km、140m、11:20. 野生のゴマ。谷底の町、Khopoli。
- k87-10-6-4 8981km、45m、11:37. *Coix*に2タイプある。ともに用水中に生育しているが、雌花序が赤タイプのほうが多少早生、タイプはやっと雌雄花が咲き始めたところ、後者は草丈が低い。
- 8983km、40m、11:55. NH 4.お茶の時間。
- k87-10-6-5 8984km、40m、11:57-12:30. *Paspalum*, *Coix* sp.の種子を取る。稲田が多い。盆地の底で、豊かな土壌であると言う。
- 水路に沿って、*Coix* sp. 2種が多い。野生のゴマが多い。
- 8989km、12:37. NH 4をKalapul左に行かずに直進する。ほとんど稲田。*Coix*をたくさん見る、野生イネあるが、未確認。
- 8997km、32m、12:47. Bombay方向に行かずに、Kazhat 方向にSHを右折する。黄色のちょうちん型hibiscus。山足にヤシ、バナナ。丘に入る。草地に小水田。道端に*Coix*が多い。
- k87-10-6-6 9000km、65m、12:55. *Coix*, 野生のゴマ。小水田に、*Echinochloa*, *S. glauca*が入っており、これは窪地に作る。他は草地。Choteraに向かう方向であったが、道がなく戻る、9004km。ラギ、niger seed、*Coix*あり。少々の薪を取るために何キロも歩く。
- 9012km、52m、14:00. Agr. Res. Stat., Karjat 創立は1919. 主にイネを対象としている。所長はDapoliであった人で、朝来れば案内したのと言われた。地方名: ラギは nagli. *P. miliare*は kodra. *S. italica*はrala. *Echinochloa frumentacea*は

k 87-10-6-7

wari.

9019km、14:55発-15:02で、tribal areaに向かう。Khajat駅で鉄道を渡り、Ulhas川をすぐに渡る。水田中に点々と*Coix*が入っている所がある。ヒエ雑草も多い。水田地域。6月播種で10月収穫。12月播種で3-4月収2期作イネ: karif冬作のほうが収穫は多い。雨季は温度が低く、虫害により減収。夏は38-40C. 冬の12月は31-尿素や他の肥料は要らない、灌漑で栄養は十分。

9023km、72m、13:15. Kadan 村、Stpula地区。Saraiwadi Hill region。

果樹園の間に行く。湿地には*Coix*。ヤギ30頭。グロリオサ。

9034km、83m、15:31. Nalpe村から Kasel に向かって左折。

9035km、76m、15:35. Local farmer の家に行く。Saraiwadi 村。

P. miliare, wari: bhakar, ambil, sera (お菓子、grain) にする、bhatにはしない。

ラギ nachuni は bhakar にするが、ambilにはしない。Riceはtandul, bhat, bhakar, ambil, seraにす門飾り; マンゴリーフの代わりに使う。Dasha・hra (悪魔・殺す) festival は神が悪魔を殺した日をたたえ、記念した祭り。

サマイ、ラギ、ホースグラム、マリーゴールド、マングビーン。

ラギ: ①土地の準備nalgar 土地を耕起、整地する。手またはスイギュウの鋤による。6月1週目。②散播、棒で均す。6月2週目。

③除草; *El. indica*と*El. coracana*は葉の形で区別。④穂刈、10月末から11月初旬、熟期が違うので、何回かに渡って収穫。

⑤からは家畜に与えるか、畑に播く。

sera の作り方: 1 dehask. 2 穀粒。 3 砂糖と水に穀粒を入れる。 4 煮る、特別の食べ物。

ambilの作り方: 1 煮立ったお湯に、 2 粉を少しずつ入れる、 3 少し液状で飲む。

P. miliare; wariの散播はラギとほぼ同じ方法で行なう。

S. italica rala; 神に供えるために使う。年間24回使うので、20-30kgあればよい。自家製の物はまず第一に神に供える。

dehaskしたgrainに砂糖を混ぜて、sira を作り、神に供えた後に、人間が食べる。特に形は決まっていないが、upit と同じで

いろいろできる。よい穂を選んで脱穀は人の足でし、この種を翌年に播く。残りはスイギュウです。

玄関にあったのは箕ではなく、傘であった。

主人はタバコの葉を持っていて、巻いては吸っている。

9032km、80m、17:28発。SH 38.

9058km、18:00. A .R. Staion、その後、Puneに向かう。

9067km、18:13でNH 4に入る。本日のフィルムは差し込まれておらず、恐らく何も写っていない。ハス池、山、

Paspalum

は損失したかも、*Coix*は後で少しは写しなおした。18:20大雨が降ってくる。

9161km、20:45. 残照の岩山暗きデカンの野(10月5日)、新月に煌くプネー懐かしき

87-10-7	<p>7:30起床。朝食、買い物、準備、標本の整理。12:00から昼食。荷物は6時まで預けて、Bazarに行き、Kopparさんの義弟の家に 行くことになったらしい。6時に戻り空港に行く。</p> <p>① ICAR: Center research Institute for Dryland Agriculture, Hyderabad, India 1985. Efficient Management of Dryland Crops. Dr. Seetharam が概説を書いている。</p> <p>② J.F.Dastur,FNI. Medicinal plants of India and Pakistan. D.B. Taraporvala Sons and co. provate Ltd. 1985. reprinted Bombay, India Pocha's 1888. 老舗の種屋で、品種改良もやっている大きな会社。</p> <p>18:00頃まで、Kopparさんの義弟の家、娘さんが3人、両親は旅行中。Upit をいただく。小林さんが写真を撮る。 18:50くらいに空港に行く。しかしHyderabad 行きは少し遅れ、21:00に乗り、21:30に離陸した。22:40にHyderabadに着き、 機中で軽食を取る。23:30過ぎにホテルに着き、3回値段の交渉をしたが、泊まることになった。とても悪い部屋であった。</p>
87-10-8	<p>朝9:00過ぎに出発。Visakapatnumに向かう。Hyderabad は明け方から大雨、水道の水でない。ここに至っても雨では作業は 大変だし、種子も乾かずに、痛んで困る。6:45頃起きて、準備後、お茶を飲んで待つ。9:45に空港。荷物が検査にかかる。 開けさせられる。11:30にVisakapatnum到着。Shankarさんが迎えに来ていた。 KopparさんはDelhiに呼び戻され、USSRに行くことになった。12月初旬に帰ってくる。会計、標本の措置については省略する。 1630空港から出発。17:20にdesel 入れる。Aruku に向かう。 55081km、19:35. 休憩。Dr.Patnaikも参加。Aruku地域はラギの重要な品種の原系統を出したところと言う。 USSRは<i>P. miliaceum</i>を10:00から数1000系統もっている。<i>P. miliare</i>はない。Chinaはキビは数100系統と言う。 55094km、20:10. Orissaに入る。 55158km、21:25. ゲストハウスに着く。24:00荷物整理。夜中に人が来た。明け方も物音がして、起きた。警備員らしい 人が笛を吹いて見回っていた。</p>
87-10-9	<p>Janiguda 6:45起床し、準備。材料は農場で乾燥してもらおう。8:30朝食に行く。 x5185km、860m。HotelMilan (5188km) 9:00. GSでoilを買う。小さなラギ畑。殆どが草地。北に向かう。 5192km、9:12-9:50. Sunabeda、Koraputに20km。部屋を替わる。午前中は農場に行つて、所長に会い、見学す 昼食後に移動して、調査に出る。郵便局に行く。 5196km、野生の<i>Pennisetum</i>, トウモロコシ畑、バナナ、カシュの果樹園。水田。道端にはオジギソウ、クロトラリアが多い。</p>

*Coix*がたくさん出てきた。*Sorghum halepense* あり。

10:10 所長の話聞く。Orissa University Agr.Res.Station 1963創立。 学生、院生の教育、研究と普 Eastern Gartsの農業、10のステーションがOrissaにある。1978にここは始まった。主な対象は： ①oilseed、niger seed、

masterd、wheat ②small millet。 水稻がOrissaの主要作物であるが、ここではhillsideの作物の研究をしている。

冬は涼しいので、コムギも研究対象としている。農作業の技術、輪作体系を研究している。ゴマは第2の生産量。niger seed

も多い、GA10. Spiceの研究センター。Small millets(maize)は2500ha、州の面積の15%になる。KurapurDist. 28%栽培

面積。83000ha small millets 10.6%。全国でと言う意味か?

39%も作っているdistrictがある。Ghanjan, Kolapul, Tribal District, Phubani, Kuahandiなど。州には30districtsがある。

ラギは主に2品種、Neelachel, Dibiyiui? Karifに作るSmall millets。雨が多いから。

ラギとサマイは比較的あるが、収穫されている。早生の作物。

P. miliaceum、*Echinochloa*などは少ししかないが、ある。50%くらい混ぜて作る。5月に播く、これは乾季の終わりになる。

6-7月に雨は多く降る。その後、9月にniger seedを播く。Hill slopsは土が少し水を持っているので、作付けす薄く種を播くのは除草が大変だから。一般に、晩生品種は他の作物と混合して栽培する。Germplasmを多く収集できるだろう。

今熟しつつある物もある。884mというが、高度計は863mなので、ほぼ適正であろう。

雑穀の専門家；*P. miliare*は22.5cm、推奨している施肥法、種子に肥料をまぶす。

昆虫学者；*P. miliare*には虫がつきやすく、食害が多い。Pestのために、ゴールができてしまう。ラギも同じで、葉がやられて、

光合成が減少する。Brustが穂につく。ゴマも同じく。*P. mikliare*、*S. italica*、Kodo にもひどいpest、葉をbrustにやられる。

6月の第2週に薬剤を散布するように推奨している。BHCなど。

雨季は6月に始まり、7-8月に雨が多く降り、9-10月に終わる。1500mm/雨季。

11:10所長の家に行く。Dr. B. S. Panda 所長. Dr. H. B. Patnaik 雑穀の育種家。Korapul District, Orissa. incurved finger内にはテントウムシが入り、虫害を与える。

natural mutation, Indaf は大変に大きな穂になっている。*P. miliaceum*はすでに収穫されている。Pani varagu という。

雨季にはすでに収穫されているということか。

5202km、863m、13:30発。移動と昼食。14:30 雨、右に川。

5214km、14:45-15:00発、ゲストハウス。

5217km、Sarulまで71km、左右ともに草地。niger seed畑。

- bhat。 podu cultivation : 草を焼いてから、種を播くこと。
5221km、ラギ畑。
- k87-10-9-1 5223km、895m、15:13-15:35. Pakjola area。
ラギ畑で*P. miliare*を採集、緑と紫の穂。疎密がある。脱粒性のものもあるが、これも混合して食べるという。
*S. glauca*もあるが除草するという。
ヤギ。ラギ畑が多い。川沿いに水田。niger seedは緑に見える畑。ラギは黄色に見える。トウモロコシ畑もかなりある。
- k87-10-9-2 5233km、875m、15:50-16:10. Kundali 村。ラギ畑中にサマイが少しとインドビエが2個体。
5234km、16:15. 左折して、hillsに入る。低地には稲田。小川の左を上流に行く。niger seed畑が多い。
- k87-10-9-3 5237km、880m、16:20. Malimarla 村で種を分けてもらう。アヒル、ニワトリ、イヌ、家畜。ウシ、スイギュウ、ヤギ。
サマイとラギをもらう。サマイはすでに収穫されていた。
- k87-10-9-4 5240km、16:35. 赤い花 *Amaranthus caudatus*。
5241km、16:36-17:00. Kejerakkota 村。ラギのganji。トウモロコシはmakka
元に戻る5244-5247km。K87-10-9-3の地点。左に回り、南西方向に向かう。
Patangi 村を通過。ラギ、niger seed、稲田がとても多い。
- k87-10-9-5 5254km、17:28. Sunkiに22km。ラギとniger seed。
トウモロコシは ; pejo (ganji と同義)、roti。 *P. miliare*は ; bhat と pejo。ラギは j aou、粉で作る。イネは bhat。
5255km、895m、17:30-17:50. パンクした。お茶を飲む。ラギ畑の中に アワ、サマイ、*S. glauca*がある。冬は0C以下になる。
右折して村を通過。
5256km、オシロイバナを小林さんが収集。
5281km、18:30. パンク直しの店。
tandoor の図あり。*Alocasia*はsaru。ヘチマはjauhi。カリフラワーはphukuki。ナスはbaigu。ユウガオはlau。
調査ルート上の図あり。Biharとの州境には*P. miliaceum*があるという。
-
- 87-10-10 6:30起床、お茶、準備。
5530km、870m、8:15-9:00. 郵便局による。
biryaniは外から入った料理だから、どこでも同じに x x。町から出て右折し、幹線に出る。
5305km、9:04. 南に向かう。山の斜面はラギ。
5308km、9:13. Deselを入れる。町の中を通過する。niger seedがたくさん播いてある。Pomp式の井戸。小さな竹やぶ。
ReとPの世界の違い。作付け図あり。
5312km、9:20. 右折。左右ともにラギ畑。ウシ、スイギュウ。水田に草が多いのは、旱魃のために水がなく、諦めたため

k87-10-10-1

であろうか。 *S. halepense* は飼料にする。丘陵部に入るが、サツマイモ、落花生が少しあり、多くはラギである。5316km、895m、9:30. 典型的な tribal area。Aligaon 村。Paraja 族。ブタがいる。オカボが干してある。鋤：2頭立てで、3時間で25エーカーを耕すと言う。Caw、ox どちらでも耕す。雑草は手で取る。種子はざるに入れて、手で散播する。ヤギやヒツジに歩かせて覆土する。時々人間の足です。移植するのは水稻のみである。右、大きな草をとる、sabol。くわは kudiki。鋤の先端は鉄製。雨が降ったら播種する。施肥は堆肥を与える。間作しているときには除草する。ラギの擬態は雑草の葉が細いので区別がつく。栽培型は植物が大きい。Seedlingのときの形態から判別できる。Jangali (=Wild) suau; suauとは雑穀のことを言う。かま sickle ですべて収穫する。Ela; 株刈り用。Ghagada; 大き目の鉄鎌、khola=bush を刈る。脱穀場で行なう。雨で流される、恒常的ではない。竹ごご chopo。脱穀場は円形で、家畜が2-3頭回って、足で行なう。stone rollはない。少ない時は、棒でラギを打つ。木の棒 badi で、何でもよいが竹は使わない。箕; kula 風選に使う。かご; chandela。5月初旬に畑の準備をして、5月中旬に① *P. miliare* を播いてから、ラギを播く。5-6月の雨後、発芽。雑穀の50%は混合して播く。8-9月にサマイを、9-10月にラギを収穫する。② niger seed は種を踏まないで脱穀する。11月初旬から12月末(遅蒔き)に収穫する。③ オカボか野菜を作る。①-③で1年の輪作ができる。種子はごごの上で干す。niger seed は売る。杵; mummsalou、dehask する。石臼; kutuki。Chaluni? 混ざり物は風選だけです。稲は特に小石を除く。水田の作付け; あぜ mai。水田の準備、湛水 hal kariba。除草 ghaso・bachiba (雑草・取り除く)。水を入れる maipota。

k87-10-10-2

収穫 katiba。田起し goru・molaba (cattle・trampoling) 歯ブラシは *Pongemia* sp. 2-3回使って捨てる。皮をむいた小枝を使う。5316km、900m、11:18. ゴマの小さな畑、横で脱穀していた。5320km、11:41. 幹線道路に出る。ブタが多い。男性は禪の人が多。ドティではなくルンギーも多い。オーストロイド系の人々だろう。通訳の人が加わる。5323km、11:45. 町の中心に戻る。5324km、11:46-11:56. お茶、若いココヤシ、柔らかい皮、水だけ飲む。来た時の Vaizg への道、Janiguda 村。Mixed Fram で通訳をおろす。南に向かう。ragi には suau が混合。niger seed, rice。トウジンビエが少し混ざっている。 *S. halepense* と *Sorghum bicolor* が混ざっているが、少ない。Docets 池を通る。Sandar road。5337km、890m。Subai 村、脱穀をしていた。ラギ畑がほとんど。稲田がある。ラギが減る。

- k87-10-10-3 5357km、873m、12:35-13:00. 路上で市場が開かれている。Dnuba 村。
ghaun chakula コムギのパンケーキ。Muruki はriceとgramマメで作ったお菓子。
左の丘、繊維を取るユッカsp.
5360km、13:03. 左手はVeja West Station. 鉄道をわたる。ラギとイネ。
5362km、910m。二又をVizag.にいかずに、右方向の丘に向かう。ラギ畑中にトウジンビエ。山足にトウモロコシ、
小川沿い
に、イネ。
5364km、Haijar通過。MPR 52ルート。ノゲイトウガとても多い。左にはカシュナツツ。
5368km、花が咲いていないniger seedばかり。
- k87-10-10-4 5370km、857m、13:15. 白と赤の芒の野生イネがある。Coix sp. 雌花が中に入っている種、水田の畦にある。
水田中に生育。
5372km、13:36. Sagamxx 村。ラギ、niger seed、オカボ。
5380km、13:45. Tusuba.
5384km、13:52. Lampaputの町を通過。市場が開かれている。ラギ、オカボ。
5396km、870m、14:08. ラギ畑が続く。S. glaucaがかなり混ざる。谷はイネ。丘陵地帯に入る、稀にラギ。コーヒー
園がある。
5404km、710m、14:20. 2人が炭を運んでいる。Ragi、収穫済みはサマイとオカボ。
5409km、Mhatili 44km。モロコシ少ない。ラギ少ない。サマイは少しある。水田地帯。
5417km、620m、14:35-15:05. 町に入り、昼食。Bocpariguda 町。
- k87-10-10-5 5419km、608m、15:07. ラギ畑中のサマイ。サマイ畑中のPaspalum. イネ中のPaspalum.
P. miliareの畑あり。
- k87-10-10-6 5425km、605m、15:45-16:17. Beragaon 村。
サマイ畑、weed、中間型？。
Coix sp. 第3の種、種子はない。サマイSuauの単作畑。
5433km、630m、16:27. 森の中を走る。コンニャクが木の下に多い。イネは早魃がひどい。
5439km、MPまで13km。Rameperi 村。5440kmで引き返す。
- k87-10-10-7 5440km、620m、16:55. Coix sp. はGorigodioというようだ。
別ルートを通って戻る。水田中の野生イネが多い。
5446km、17:10. 林床にウコンの野生らしきものがある。白いショウガの様な花。タケの小藪が多い。
5449km、580m。Eastern Gatsの原生林。山中をジープで分け入る。20m以上の木が茂り、下草も多い。ウサギが多
いが、
トラもいるそう。下草は多い。キュウリの野生。ショウガ、Alocasia、シダは少ない。
- k87-10-10-8 5453km、490m、17:35。
545km、455m、17:43-17:55. イノコズチ。シバ神の寺参り。MP州境まで行く。
自然の洞窟があり、丘の中腹に神が祭ってある。暗くてよく見えないが、コウモリがいた。石段はかなりの数あ
り、足が疲れた。

川の対岸はMadhya Pradesh。他のジープが道をふさぎ、小一時間ほど待たされた。その間に星がよく見え、人工衛星らしき

もの2台通る。闇夜の山道はスリルがあり、Jeepでしか味わえない3時間ほどの走行であった。

5532km、21:45. Jeypur 町。夕食をとる。

5532km、23:00. ゲストハウス。1am洗濯、整理を行い、寝る。

87-10-11

6:30起床、クロロキンを飲む。7:30茶とお湯を持ってくる。

5594km、860m、9:25. 朝霞が晴れる。Jeypur方向へ行く。

5597km、9:30. 湖を渡る。炭や壺などを天秤棒で運んでいる。多くのラギ畑。サマイが少し混ざっている。稲田。

5602km、836m、9:34. 昨晚のcheckpostを通過する。

5605km、9:45. 湖を渡る。ラギ、オカボ。右手の鉄道に沿う。ラテライト土壌。広くて豊かな高原。クワあり。サリーの着方

が違い、Tシャツなしで着ている。

5611km、9:45. NH 43, Raipur.

5612km、10:00. Deselを入れる。Koraput 町。

5613km、10:02-10:18. 朝食はpakora. Dosa、idliもあった。ネナシカズラ。

5615km、鉄道をわたる。ラギよりもniger seedがとても多い。ラギ畑中に *Cajanus* 散播する。ラギ、オカボあり。

k87-10-11-1

5623km、730m、10:35-11:24. Rayagadaへ99km。サマイの早生は収穫済みで、晩生は出穂中。

SH 4, ラギとオカボ、niger seedが続く。低地には稲田。

k87-10-11-2

5634km、830m、11:37. 比較すること： 1 オカボ、2 ラギ畑中のサマイ。3 サマイ畑。4 イネ。

S. glauca に 大；紫、緑の変異が有る。 小。同じ場所にあっても穂の大きさに明らかな差がある。コブラがいる地域。

5635km、12:16. はば5-10mの川を渡る。ラギ、niger seed、水稻。混作モロコシ。ここは土地がよく、よい収穫。

トウジンビエは稀。Andalguda。イヌの多い町だ。両側の丘にはサイザルがある。

k87-10-11-3

5643km、870m、12:25. Koraputまで30km。Ledireiguda村とNiveanigudaの中間。

S. glauca=lingudi はたくさん生育している。Bhatにするが、rotiにはしない。サマイと混作するが、*S. glauca* が勝って

生える。条播する。*S. glauca*の野生は ghas lingudi。旱魃の時にサマイの替わりに播く。

稲田に野生稲が入る。

イネdhan；①bhat 1 煮る。2 余分のお湯を捨てる。3 タマネギ、塩、トウガラシ、アマランサス、ジャガイモ、魚を入れる。

tappingで脱穀、少しの場合は棒でたたく。石臼で精白。

サマイsuau；bhat と pejo。

ラギ manjesuau、1 panckake粉、2 chakuli。

*Paspalum*の野生、kodoghas。Bhatにして食べる。イネを収穫後に、*paspalum*を取る。形態的にはdomestとwildの中間的。

オカボ; 1 niger seedを収穫後、根を取る。2 夏に耕起、4-5月。5月1週に準備。3 種まき、軽い鋤poouで起す。4 発芽後、あるいは前に尿素を施肥。5 収穫。早生; 9月の終わり、Dasaraの後。中間は10月の終わり。晩生は11月の終わりに色いろある。

Shanbhag Hotel : snacks : idly, vada, dosa, poori, uttappa, pulao, bonda, pesarattu, bhath
suau はサマイ。Cheena はキビ。Kanguはアワ。Kodoは*Paspalum*。インドビエはgurji suau。

5644km、895m、13:36発。Paraja 族。

5647km、883m、14:30。Panchada 村。

***S. italica* は kangu。** 1 upuma。2 pejo (濃い)、suau と同じ。3 bhat。4 jau (薄い)、grainをゆるく煮たもので、飲むように

食べる。2と4は粒でも粉でも作る。

ラギは全粒なので、粉にせざるをえないが、アワやサマイは粒を煮て作ってもよい。ラギはjau にして飲む。

jau : ラギ粉を熱湯に混ぜた物。 Pejo : 余分なお湯、煮汁をいう。重湯のような物か?

jau はmudeとは違う。Mudeは球形にする、固めである。Ganji と同じ物ということなのか?

***S. glauca* は lengudi。** ***S. glauca* の畑がとても多い。**

ラギ畑中にアワ、サマイ、トウジンビエが少し混ざる。

臨時の家が15戸ある。

5654km、14:35-15:07。SH 4。町で昼食。運転手の名前は K.V.Nair。竈の写真。あと100kmくらい。

Laxmipur まで16km。鉄橋を作っている。ラギ。*S. glauca*は少ない。niger seed、オカボ。

5659km、911m、15:16。カレーリーフの種はない。ラギ畑中にサマイ、niger seed。

5665km、Toyaput。ゾウ 3頭。

5666km、Laxmipur まで4km。低木林の中に行く。

5668km、999m、15:30。下降する。

5670km、915m、15:33。*S. glauca*。ラギ畑がまた出てくる。niger seed。

5673km、13:36。Laxmipur 町。Rayagada へ51km。ソーダを飲む。

ラギ、*S. glauca*の畑。イネ。

5675km、Burja 村。

5681km、15:52。*S. halepense*は少ない。ラギとサマイ混作。サマイ単作。

5684km、730m、15:55-16:20。Upper Kuttinga 村。水田中に*Echinochloa*、*Paspalum* がある。ラギ畑にサマイ混入。

niger seed、イネ。Perboil加工については不明。

5688km、728m、16:40。Damaniganda 村。ラギ畑中にアワ、サマイが混入、アワの変異は大きい。ラギは株ので刈り取るが、穂刈りもする。niger seedは多い。ブタ、ウシ、スイギュウ。ラギとイネは棚田にある。

*S. halepense*が進入している。

5695km、580m、16:50-17:07。Krungali 村。

アワ畑に、ラギ、カボチャ、ハトマメなどが混入している。焼畑らしい場所がある。左の斜面は腐植が多い。

k87-10-11-4

k87-10-11-5

k87-10-11-6

k87-10-11-7

5697km、Rayaguda まで 27km。 出穂前のモロコシ。 *S. halepense* も多く進入している。 niger seedは開花中。

5704km、570m、17:18. 60km/hr. で走行。アワとトウモロコシは少ない。直径8cmのカキに似た花がある。

5710km、Gumma 村。Tropical rain forestに近い、森の中に行く。

5716km、17:35. ラギ、野菜、xイモ、キュウリ。

5723km、255m、15:42. 町に入る。すぐに鉄道をわたる。リキシヤが多い。休憩。

5726km、204m、17:48-18:00.

5753km、川を渡る。片足が悪いwalf? がいた。ウサギは時々見た。残念ながら、トラにはあわなかった。

5859km、267m、20:50. Hotelに着き、荷物降ろしてから夕食。

Shankalさん談： ①Tali: vegetable plate. 2つの給仕法がある。A) vegetable (sambar, dal, rassam, curd) 等はお代わ

りできる。しかし、チャパティ 2、プーリ 6、ライス 2、は固定される。 B) この反対。

②Instantものが多くなった。都会の主婦は料理をしない。特に、mudeを作るには、こねるのに力が要るので、作りがたがらない。

③彼の家では、instantは使わないで、できるだけその日に作り、新しい物を食べる。

④主婦は家において、料理をして、夫は収入を得てくる。朝は4:30に起きて、準備し、7:30にはすべて出来上がり、主人を

送り出す。その後、洗濯、掃除、など多くの仕事をする。昔風の日本と同じ。

87-10-12

6:30に起きる。お茶、準備。

6700km、253m、8:45.

6701km、Agr. Res. St. at Bhawanipatna 略図あり。この地域の海岸は水田が多い。

6704km、9:08. Agr. Res. St. の農場に行く。稲田。オナモミが多い。

昨日、11日分の採集品の大半、1袋が不明。ジープの中か?。ジープは故障して、Agr. Res. St. の所長に頼んで、借りるらしい。

当のジープは修理に行って確認できない。少なくともここまでは落としていないはずである。

クズ米とブラックグラムを混ぜて、前夜に挽いて混ぜ、発酵させるか、perboiled riceで発酵させてidlyを作る。

Dr. Dibakar Sara Ass. Director Kalahandi, Orisa

Coix gadaganda

k87-10-12-0

アワ、インドビエ、コドラ、ラギ、などを少し作っている。 *P. miliaceum* は1系統のみ作っていて、草丈は40cm、葉は細くて、

分けつする。生育はよくない。早生タイプ。車が直る。

5861km-5863km、232m、10:31-10:52. ココヤシを飲む。

Agr. Res. St. で地図を借りる。 *Brachiaria* sp. が栽培されているらしい。

5865km、11:08. Diesel入れる。

5868km、Goparpurまで41km。水田の縁に *Coix* が多い。

k87-10-12-1

5869km、240m、11:15. 水田中には野生イネ *balunga*、 *Coix* もある。 *Paspalum* も混ざっている。

- 遠景にパルミラヤシ。ヤギ50頭。DMR48ルート。大型トラクター。ゴマが多い。稲作地帯。ラギもある。水田に沿って *Alocasia* がある、変異が大きい。ほとんどがイネだが時々ラギがある。出穂中か収穫中。
- k87-10-12-2 5879km、240m、11:45-12:05. 水田中に *Coix* sp. korankhar という。小さな雌花序、葉鞘から出ない。細い形。
- k87-10-12-3 Sagara 村。丘陵部に入る。竹が多い。5883km、288m、12:30. 滝のところでパンク。5893km、380m、12:50. 山中で転倒事故があった。
- k87-10-12-4 5896km、443m、12:57-13:01. 自然林中の路傍に *Coix* sp.、25-30mの高木、下草あり。家1戸、斧があるので林5901km、620m、13:18. トウガラシ畑、イネも出てくる。Agr. Res. St. の支所らしいところ、この人が加わってくるようだ。しかし、留守。村域に入り、水田、人々が出てくる。山中は30-35km/h r。
- k87-10-12-5 5910km、700m、13:37. ラギ畑中のサマイ。
- a *S. glauca* (白緑と赤紫の穂あり) と サマイの混作
- b 農家10戸、水田と niger seed がほとんど。ウシ10頭。
- k87-10-12-6 5914km、690m、14:01. Balsara 村。オカボの風選、オカボは perboil する。Gadaba・dhan (highland・rice) オカボ畑に *Paspalum* が混入しているが、これは栽培してはいない、雑草であると言う。それでも bhat にする。しめなわ janbate という。黄色い汁は収穫が多いことを神に願う。Cawの毛。kendu木の葉。ラギからは、熱湯にラギ粉を入れる、pejo を作る。サマイ suau は bhat、および perboiled した bhat。早生小型サマイ は kosla という品種。*S. glauca* は kukur・lange (dog・tail) と呼ばれている。Bhat および perboiled した bhat. pejo (濃い)、jau (薄い) と思う、Patnaikさんのいい間違いだろう。
- Perboiled system:** イネ、サマイ、*S. glauca* の3種は適用する。脱穀した粳を煮てから、干し、脱穀する。Perboil しない場合もある。
- k87-10-12-6' 5915km、14:40. 稲田が多い。サトウキビは少ない。
- k87-10-12-7 5922km、782m、14:53-15:10. Duliguda 村。Gopalpurに11km、Gunpulに9km。5925km、湿地ある。右にサマイ畑。サトウキビ、イネ、niger seed。稲田の中に *Coix* sp. 少し混ざっている。クワ畑の前に画一的な家が10戸ほどある。オカボ畑。5932km、690m、15:25. 鳥追い小屋が多い。小さなラギ畑、モロコシが少し混ざる。道端には野生の *Pennisetum* が多い。水稻、陸稻がある。ラギの収穫後は、サマイか?
- k87-10-12-8 5937km、687m、15:32-15:55. Thuamul Rampur. Poly Vastra Production Center *S. glauca* と サマイの混作畑。*S. glauca* には白緑穂、赤紫穂、雑草(穂が小さく脱粒性) が識別できる。Bhat にして食べる。*Brachiaria* はないということになった。

5941km、689m、16:03. 左右に池。

5942km、16:16. Hotel Manikeswari で昼食。Ageratumは各地にあった。人家の近くにクワズイモ。小ホウセン
稲田がある。Shankalさん談：ポップコーン、ビートンライスは①そのまま食べる、②masalaをつけて食べる、③
ミルク、砂糖、
ココナッツをかけて食べる。Mudi (Oriya語) ; イネのポップコーン。Mandakki, mandalu, puri (カンナダ
語)。少し加工法が
違うようだ。

5942km、690m、16:50. 別の道で折り返す。サマイすこし。稲田。アワらしきものがある。

k87-10-12-9

5944km、715m、17:00. Jagesepadar 村。Cheenaは高いところにしかない。

Andra Pradeshから移住した人々。Konda・Dora (hill・king) 族。

①ラギpahado(=hill) mandiaから作る食品 : A, jau (mudeに似たもの) ; b, pitha; c, onda (粉粥の粗挽
き風)、これは球形
にする=mude、塩と砂糖で食べる。

②サマイgurgi から作る食品 : a, bhat

③S. glauca はkukurlange : bhatにするが、イネよりも多くの水を加える。

④イネ dhan : a, bhat ; b, pitha はsoakingして、ブラックグラムと混ぜて焼く (もしかしたらdosaのこと
か?)。Chakuli

⑤アワ kangu : a, bhat。B、upma。

⑥コドラ ; jau だけ作る。

⑦トウジンビエ jonna (jowaryモロコシの間違い)、kayna ; 粉にして、イネ粉と混合して作る jau。

⑧モロコシ : a, 酒。B、ポップコーン。

Perboil system : イネとサマイです。1 お湯を沸かす。2 穀粒を入れる。30分くらい。3 取り出す。4 天日
乾燥する。5 糲摺り。

5945km、690m、17:45.

5951km、築を写す。

6019km、19:40. Agr. Res. St. の戻る。夕食、標本整理などして。翌2時に寝る。

まとめ : mudeは南インドの食品で、中央インドにはない。Rotiまたはbhakarはchapatiの変形で、Orissaにはな
く、Maharashtra

にはある。Perboil加工は、アジア起源の皮性穀物に対応、糲摺りしやすくなるということか?。アフリカ起源は裸
性か?

アワとキビはperboilしていない。イネ (オカボ)、ヒエ、サマイ、S. glauca、コドラは加工する。

87-10-13

6:30に起きる。

6023km、240m、8:30. 発。炭を山村で作って売りに来る。1 籠で20Rsはいい値段か。大きいのは15RS、小さいのは
13Rs. 女性が頭に載せて売りに来る。

BhawanipatnaからBolangirに向かう。自転車に乗っている人も多い。バイクは日本の会社と合弁制作。

6033km、9:28. 町から出発。

k87-10-13-1

6035km、9:36. Agr. Res. St. に来て、次の場所に連絡する。
稲田、旱魃で生育不良のイネをウシに食べさせている。稲田中に*Coix*が侵入、少ないところも多いところも有る。水田地帯だが、時々、ラギ、モロコシが少しある。Pigeonpeaの間作ある。オカボかを見たが、*Paspalum*の畑であった。

6046km、204m、9:55-10:42. Karla guda村。黒土地帯という。

オカボの中に*Paspalum*を探したが、見つからなかった。

オカボのパーボイル、粃が開いている。赤米も混ざっている。日干ししている。

イネ dhan: 1. bhat.

2. Pejo は余分の煮汁、塩を少し加える。一夜で発酵して酸っぱくなる。前夜に作っておき、翌朝のbhatにかけて食べる。

このことを pokhal と呼んでいる。

イネの生育は悪い。水田の縁には*Coix* sp.ある。

*Paspalum*の単作畑、pigeonpeaは少し入っている。

Paspalum = kodo 5-6月に条播する。オカボには野生のkodoが混入して見分けることが難しく、**擬態していると言ふこと、**

wildも同様にkodo と呼称している。この年は雨が降らなかったのも、除草をしなかった。覆土はウシの踏み付けです。

収穫は11月頃で、今出穂し始めたところ。脱穀は路上か脱穀場です。耕作してから除草、手で取る。

Kodo: パーボイルしている。Bhatにしかない。1. 収穫。2. 脱穀。3. パーボイルする。4. 粃摺り。5. 精白。6. Bhatにする。

栽培はとても多い。モロコシとpigeonpeaが間作物になっている。

インドビエ: *Echinochloa frumentacea*はjhari か?

1. プラウで耕起、除草。6-7月の雨の後にする。2. 収穫は9月末に株刈する。3. ウシによる脱穀。4. パーボイルする。

料理は1. bhat、2. 時々は upma。

*P. miliare*は収穫した後らしい。跡がある。ラギは見られない。

Perboiled system: ここで栽培しているすべての雑穀にする。粃摺りが容易になるからという。

アフリカ起源のモロコシ、ラギ、トウジンビエは一般に裸性のために、パーボイルの必要がない。

Biharでは riceとragi で酒を発酵させる。Bhutanでも同じと言う。味はラギのほうが一般によい。

大変に暑い。熱いお湯galan paniが飲めて水分は楽である。風が吹くとさわやかである。

*S. viridis*を見ることがないのはなぜか?アワは伝播したので、起源地ではないからか。

クロトラリアの雑草が混入。Alocasiaが畦に植えてある。

k87-10-13-2

6055km、182m、10:52-11:18. SH 16. Karlapada 村。

天水田地帯、収穫中である。水田の縁には*Coix*。この水田には1回水を入れて、跡は入れない、semi-upland という。

左右にワタ畑があるが多くはない。

k87-10-13-3

6059km。水田の間にワタ畑。HW路上で日干して、パーボイル加工イネの糲摺を行なっている。水田畦に *Alocasia*, ヒマが少しだが、1列に植えてある。

6060km、180m、11:30-11:40. Turkel 村。大河の橋を渡る。稲藁をよじり、直径20cmほどの縄状にする。

ラギ畑。Pigeonpeaの中の刈り跡は *P. miliare* であろう。

灌漑水田地帯。 *Coix* sp. 時々ある。niger seedが稲の裏作として播いてある。

6070km。丘陵地に入る。窪地にはイネ、ラギ、草地。ヤギ30頭、ウシ20頭。

土が赤くなる。Amaranthが少しある。落花生。池の縁に野生イネが生育。

サトウキビは少しある。

6078km、210m、12:00-12:30. 荷崩れしてお茶の時間。橋のところで他のジープとすれ違う時に、鉄棒が接触し幸運にも人には触れなかった。水田中に行く。貯水池が多い。 *Coix* sp. は水田によく入っている。

6084km。Khoriarまで12km。niger seed とサトウキビは少ない。人家近くに、モロコシ2a, ラギ少し。井戸の囷あり。

イネは登熟、出穂、いろいろな状態にある。野生イネが多く混ざっている。

6093km、220m、12:45-12:52. 荷崩れでまた止まる。周辺は水田ばかり。

70m幅の川を渡る。池の中はスイレンが生育。モロコシは人家周辺に少しあるが、他はイネばかりである。

Khariar 町を通過, イネがほとんどで、niger seedが少し。

6106km、240m、13:12-16:20. Komnaまで26km、Raipurまで189km。車のダイナモの coils の取替え修理後、昼食。稲田が多く、 *Coix* はほとんどない。早魃によって、ラギくらいが何とか残ったのであろう。

直接、雑穀栽培地帯に行くにはフェリーで川を渡らねばならず、回り道して水田地帯に行く。ウシ100頭。

k87-10-13-4

6113km、269m、16:30-17:25. Pudapalli 村。Komanaixまで x x km。

コド畑の中に、niger seed が多い。

P. miliare = gurgi と呼ぶ: bhat と pokhal にする。

Brachiaria sp. 栽培も野生も ghusara pata と呼ぶ: bhat と pokhal にする。

Echinochloa sp. = dhela と呼ぶ: 栽培はしないが収穫はする。bhat と pokhal にする。

S. glauca = nehari と呼ぶ: bhat と pokhal にする。

Pas. scrobiculatum = kodo と呼ぶ。bhat と pokhal にする。 *Brachiaria*, *Echinochloa*, *Paspalum* は一緒に食べる。

Oryza sativa = dhan と呼ぶ。bhat と pokhal にする。

この地域では穀物は bhat と pokhal にし、他の料理にはしない。Pokhal は pejo を発酵させて、bhat にかけたもの。

栽培方法: ① プラウで耕す。② 一般には6月の雨の後に、散播する。今年は雨がなかったため、7月の終わりにした。

③ 収穫は9月の末に株刈り。朝収穫すれば、1日で乾く。量が多い時は、夕方まで刈る。④ まとめて収穫して、脱穀、一緒に

食べる。 *Brachiaria* は栽培と野生は、後者が bushy (= lata) であることで区別がつくが、一緒に収穫す

- k87-10-13-5 6118 km、272m、17:34-18:08. オカボ畑。 *Echinochloa*, *Paspalum*, *S. glauca* などが混ざっている。インド亜大陸への伝播の図ある。
6257km。ライト故障、途中で夕食をとって、1:00頃、Borangir につく。ヘッドランプで一部走る。その後、シャワー、洗濯して、2:00頃に寝る。
-
- 87-10-14 6:30に起きて、お茶を飲む。
6257km、160m、8:24発。Balangir の Surya Hotel. 朝食をとる。
6258km、8:44発。ディーゼルを入れる。
6259km、8:54. 平野で水田地帯。ヤシはない。ウシ70頭。
6263km、Barkar まで69km。
6270km、140m、9:08. 川を渡る。Goguが少しあり、繊維を乾燥していた。
- k87-10-14-1 6271km、140m、9:12-9:35. Phasad 村。Suktel 川の近く。
イネの乾燥種子の中に *Coix* sp. が混入しているが、風選によって除くと言う。
オカボは 5月末に雨が降るので、耕起、除草して、散播する。この際に、尿素を少し与える。1ヵ月後に手で除草する。
収穫は10月の中旬にする。株刈りし、脱穀乾燥する。 *Coix* sp. は取り除く。ここではパーボイルしない。パーボイルするとおいしくなると言い、別の地域ではするところもある。
海岸近くのオカボは種が多きいので、パーボイルするという。
- k87-10-14-2 6273km、139m、9:37. Mandia padar 村。
*S. glauca*の畑。少し *Echinochloa*がある。わりとユニフォームな畑である。ゴマが少しある。
水田には *Coix* sp. 紫イネが5aくらいある。稲田地帯なので、稀に雑穀がある。
- k87-10-14-3 6278km、139m、10:05. Bargarhまで54km。Buruda 村。
旱魃の稲田に、多くの *Echinochloa*が生えて、これの単作のようである。脱粒性は著しい。
このあたりはイネがほとんどで、雑穀はごく稀にあるに過ぎない。未出穂のモロコシが少しある。路傍で粃の乾燥
- k87-10-14-4 6282km、146m、10:25. Budhitadar 村。SH 2.
*Paspalum*畑中に *S. glauca*。 *Cajanus*畑中に *Echinochloa*が生えている。窪地は稲田、他は草地になっている。
- k87-10-14-5 6288km、131m、10:53 (8分ほど進んでいる)。Salebata 村、Ango 川の近く。
水稻の種をもらう。水田がとても多く、パルミラヤシはほんの少しある。
6291km、10:58. 大きなAngo川を渡る。川幅は300-500m。Kitchen gardenにトウモロコシが少しある。
6293km、町を通過する。
6298km、149m、11:08-1120. Dungripali. Sumbalpulまで10km、SH 2. お茶。
稲田が多い。オカボは少ない。モロコシは出穂中、ゴマも開花中である。落花生ある。
用水中にはガマが生えている。
稲田中に *Coix* sp. が少し混ざる。繊維hibiscus が時々ある。ここではフェニックスのほうがパルミラヤシより多
人家にバナナ、パパイヤある。 *Cajanus*畑にノゲイトウが多い。
6314km、町が見える。サトウキビが出てくる。

6317km, Barpali town。イネは多くの品種があるようだ。全体として、10mほどの木が水田の間にある景観。水牛は水につかるととても気持ちよさそうに見える。ブタ5頭。トマト、落花生が多い。野菜が多いのは町が近いからだろう。

k87-10-14-6

稲田に*Coix* sp.少しある。

6330km、169m、12:00-12:08. Rengalipali 村。水田中の*Coix* を1個体取る。

小川の中の、泥を女性が掬っていた。鍋底に塗るらしい。

サトウキビ。洗濯物を頭上に載せた女性。感想は省略。

町の中心で左折する。古い橋が人用になりわたれず、新しい橋に廻る。

6335km、12:20. 川を渡る。稲田が続く。パルミラヤシは少し。

6338km、Sambalpurま46km、NH 6. transport office 免許証検査、通行料。

6341km、鉄道をわたる。イネとサトウキビ。木の図あり。

6347km、161m、12:40. 川を渡る。稲田ばかりが続く。Kichengardenにバナナとパパイヤ。*Sacclum* sp. wildあモロコシは少ないが、3-4m。

6357km、12:52. 街中に入る。警官が再び免許証の検査。

池には白花のスイレンがある。蓮池ある。ここのサリーは紫色が多い。

人家周辺にはバナナとパパイヤが2-5本、植えられている。モロコシ、ヒマ。

ヤシにポットが2個、酒造りの材料を取っているのだろうか？

k87-10-14-7

6367km、170m、13:07-13:22. Sambarpulまで20km。

水田中に*Echinochloa*、草丈高く、イネの1.5倍、芒あり。クロトラリアの野生が出てくる。蓮池、窪地は稲田。他は草地。

左に鉄道に沿う。

6376km、13:32. 鉄道を横切る。左に大きな灌漑用の湖。

6380km、170m、13:36. Mahanadi

岩が多く、水の少ない大きな川を渡る。

6383km、13:40. Sambarpul に向かう。ホテアオイが多い。

6387km、174m、13:54. Agriculture Gesthouse at Sambarpul に行き、すぐにhotelに行く。

16:00ころ、電話と車の修理に行く。ダムに行き、19時に夕食、20時半には寝る。猛烈に眠い一日であった。

Hirakud Dam: 灌漑 390,000エーカー、発電 270mw. Flood Protection 5,000sqmiles in Mahanadi

6:00前に起きる。

6428km、142m、7:25発。Breakfast: masala dosa 1.75Rs, uppuma 1Rs, idly plate 1Rs.

6429km、0755発。Sambalpur. 朝市を路上で開いていた。水溜りには*Oryza rufipogon*。

6432km、diesel とoilを入れる。市街に出ると稲田地帯。昨日の川を新しい橋で渡る。左手に鉄道に沿う。池には白い

スイレンが生育。稲田は部分的に収穫している。水溜りの縁には野生イネが生えている。

NH 6, to Bombay 1410km. 直進し、昨日のルートに戻る。

6449km、8:28. イネばかりが多い。読めない。ダイコン、キュウリ。

87-10-15

6458km, 9:40. 1400km to Bombay. 蓮池、野生の *Succhalum*。町を通過する。
6463km, 9:45. イネがほとんどで、サトウキビ、モロコシ、パルミラヤシは少ない。畦畔に10mほどの木が多い。
サトウキビ。人家近くにトウモロコシが少しある。ブタ20頭。6481km, 9:05. 右にそれて、Paipurに向かう。
6482km, 221m. 昨日のcheckpost。
6485km, 9:15. 左折して、Bolangir方向に向かう。稲田がほとんど。サトウキビは少しある。
6491km, 152m, 9:24. オカボに落花生があったが、ノゲイトウが多い。すぐに稲田になった。これは10-20m以内の標高差で決まる。図あり。
オナモミは道端に多く、サツマイモのような花の灌木は水田の縁に多い。ヨツアシウリサ?はよく目に付く。
サトウキビ、イネ。
6507km, 54km to Bolangir. 小さな川を渡る。涼しい風が吹く。イネ、落花生。オカボは少ない。
6520km, 142m, 9:58. SH 2, 昨日お茶を飲んだところ。稲田が続く。
6528km, 川を渡る。用水に野生イネ。
6532km, 142m, 低い丘の上。27km to Bolangir. 各所に池がある。
6540km, 10:25. 左折して幹線からそれる。丘陵地に入り、草地。窪地には水田があるが、生育は不良。
6547km, 143m, 10:41.
k 87-10-15-1 6549km, 149m, 10:45-11:25発. Ranisarda Tilemaru 村。
コドラの単作畑がある。他に *S. glauca* とゴマが混入している畑もある。コドラは散播後すぐに、家畜に踏ませ除草はしない。10月の終わりに収穫する。脱穀は家畜のsteppingによる。風選する。
コドラ kodo. パーボイルする。Bhatにのみ調理する。
イネ、dhan. Perboil-乾燥-糲摺り-精白。からうす、dhenki 図あり。Bhatのみに調理する。
S. glauca は食べない。Ghda・langi (馬の・尾)、lota。
P. miliare と *P. miliaceum* が混ざっていて、収穫後食べてしまったので、少ししかない。村人に分けてもら山間地、窪みに水田。
6554km, 153m, 11:37. かなり広いところにマメが播いてある。前作は *Panicum* か? 村には大きなタマリンドノ木がある。女性は腕に刺青をしている。額の人もある。焼畑かと思われた作業も見られたが、よくわからない。木が除かれ、
あるものは枯れていた。
k 87-10-15-2 6558km, 151m, 11:46-12:10発. Telaimal 村。
オカボの種を干していた。 *P. miliare* は収穫後食べてしまったからなく、*Echinochloa* = dhatela をもらう。政府には協力と言うことらしい。
したくないということらしい。
草地の中に、時々畑があり、恐らくコドラであろう。
k 87-10-15-3 6566-67km, 143m, 12:30-13:05. Kenumuda 村。特に貧しい村で何もなかった。
P. miliare = gurji (suan) はbhatにする。Kodo単作 もbhat にする。
野生イネ: 窪地一面に草丈が低い野生イネが生えており、これを収穫して食べる。パーボイルしない点に注意。

①どんな物でもよいが容器に、手でなでるように穂を打って、収穫する。パーボイルはしない。②乾燥する。
③唐臼 dhenki で搗く。④gramを加えて、煮る。マメを先に煮ておいて、後で野生イネを混ぜる。
⑤kichidi (=mixed and boil の意、bhatとは言わない)。

悪路が続く。水稻もオカボも生育が悪い。

6574km、141m、13:23. ゴマ、イネ少し。荒地。

6576km、13:28. 幹線に出る、Sonepurまで 9km。灌木の荒地。

6581km、水田が出てくる。バナナ、パパイヤ、が多い。

6884km、13:36. Sonepurに向かわず、右折して Boudh 方向に少し戻る。昼食、hotel Sheetarashmee.

14:30発。マトンカレー、ダル、チャパティを食べる。風が涼しい。

Boudha に右折し、川を渡り、平行に走る。

6589km、14:35. 稲作地帯。

6592km、Boudh まで 43km。ゆるい棚田、イネの収穫跡が多い。Hoursebeanの芽生えが多い。

6604km、川を渡り、稲田の後、町に入る。Andhra Pradeshにサイクロンが来ているので、風が急に強くなった。

6617km、120m、15:10. 少し雨が降り出す。稲田ばかり。

6629km、15:24. Salki 川を渡る。パルミラヤシが少し多くなる。

6631km、Boudhまで6km。左手に大きな川。ほとんどが稲田。

6636km、15:30. 右折。Pulbani 60km、方向に右折。水田ばかり、スイレン池がある。4人がかりで、3mほどの柵を運んでいた。パルミラヤシと水田の景観になってくる。小林さんはヤッケを着る。

6672km、190m、16:15. お茶の時間。森林地帯=millets の地域になる。Chartghhak 町。

サイクロンの影響で雨が強くなる。

*NBPGRのsuggestion; Koruput, Botangi, Sumbalpur, Pulbani の4 districts、Gajanはラギ。

6674km、16:30発。丘陵地域に入る。稲田が多い。

7677km、260m、16:40. 7680km、Paniskまで7km。谷に沿って稲田。森林地帯に行く。

6685km、510-540m、16:53. 森林中を走る。20mほどの木々、下草はあるあちこちに小さな畑が点在する。

*P. miliare*らしい切り株がある。ウコン、小さな稲田。

6689km、580m、16:58. 水田、播種後らしいオカボ。

6694km、590m、17:05. 稲田、niger seedはmillet収穫後に播かれたのであろう。17:19、Phurubani へ10km。

6696km、570m、17:08-17:28. Sudreju 村。

サマイ koeri の畑。オカボの畑の中に、サマイ、*Paspalum* sp.、*Echinochloa* sp.、イノコズチが生えてい
ラギの種をもらう。オカボ畑の中の*Paspalum* sp. はgoddo と呼ばれ、食べない。

西に向かい、夕焼けが見える。稲田。

6704km、479m、17:42. オカボ畑。

18:30、町に着き、Ass. Directorの家に行き、宿泊を手配してもらう。

20:00、ゲストハウス着。夕食、23:00頃寝る。

Shankalさん談。USSRには10,000系統のキビがある。栄養価は稲の2倍。ポリッジにして食べる。かなり力を入れて
いるようだ。交配は花期を揃えるために温湯処理する。雌しべ母方を暖め、雄しべ父方を冷やす。

87-10-16

大雨。5:30に起きる。

6737km, 8:00. 6739km, 8:27. 朝食. Tribal Area Research Center, Orissa University Agri. Tech., Phulbani Dist.

6740km, 8:30. 木のまたで作ったクワ、kuda という。土の表面が柔らかいから、これでよい。アイヌの物と同じ形態。

道順を聞く。耕すことは khuseiba。鉄クワはgudi (カルナタカでは gudli)。Neigilo は鉄かと聞いたが、神のことらしい。

Kondho 族を訪ねる。BiharにはTraibal Universityがある。アワ、ラギ、モロコシの種子が展示してあるが、キビはない。

417m, 9:00. 23度C、 45%相対湿度。雨が降っている。

5月に最初の雨が降ったら、耕起し、次のものを播き、または植えつける。Ragi, Jower, maize, upland rice, miner millets.

これらは同じように栽培する。散播、家畜による踏みつけ、除草、9-10-11月に収穫。

6-7月から約3ヶ月の雨季が始まる。Karif = monsoon のこと。(カルナタカは5-6月)。5月にまず乾いた状態で播いて

しまつて、雨を待つ、ウシによって踏みつけ覆土する。

kuili エゴマらしい種子はサマイと同じように使うと言う。

トウモロコシは混作して、斜面に作る。

termeric, ginger, vegetables. 根菜は斜面に沿って、上下に植えつける。

同じ場所で、460m, 9:25. 気圧が下がってきており、小降りになってきた。子豚。

6741km, 9:37. ディーゼルを入れる。雨で大木が倒れ、道をふざぐ。

6743km, Pulbani方向から、Kattak方向に右折する、SH 1。稲田が減って、草地になった。谷には水田が広がっている。

ターメリックは少ない、x x。収穫後にはblackgramか? niger seedがとても多い、草丈低く開花中である。ラギが出てくる。

6752km, 540m, 9:55. 稲田が続く。畑地はniger seed。雨は降り続く。斜面にはオカボ。刈り後はウシに食べさせ右折して、広い道、tribal area にはいる。雑穀は収穫されているのだろう。ターメリックは頻繁に見る。人家近くにモロコシ。

k87-10-16-1

6763km, 544m, 10:12-10:38. Pandrisuga 村。農家で聴き取りする。

jowar, *P. miliare* は作っている。ラギ畑に*P. miliare*と*Echinochloa*。*P. miliare*と*Echinochloa*は混合してパーボイルする。

イネもパーボイルする。①パーボイルしたものでbhatを作る。②upumaと③poridgeを作るが、この場合はパーボイルしていない。

jowarは少ないから、ポップコーンにする。アフリカ起源の穀物はパーボイルしない。

ラギは mandia と呼ばれ、chakuli (ロティと同じもの)、pejo, Joau を作るが、おねり (mude) は作らな*Echinochloa*は栽培していないが、一緒に生えているものは混合して食べる。キビは作ってはいない。

- ラギとサマイは同じ栽培法を取る。散播、収穫後はniger seedを播き、その後は少し休憩する。この間樵をやる。その後、よくシーズンの雑穀をまく。
niger seedの畑は多く、広い。斜面の畑と水田は厳密に区別されてはいない。
- k87-10-16-2 6766km、528m、10:36-11:07. Kolorapaju 村。
サマイ畑に*S. glauca*の雑草型が混入しているが、食べないという。形は似ているが識別して除草すると言う。
6767km、Shankarakhol まで15km。サマイsuan の畑が多い。稲田が多い。晴れてくるかな。
畑と水田は天候により可変的である。移植はひもなどを張らずに、おおよで行なう。除草や施肥に労力をかけないから、
無駄なので。1m直径くらいの編んだ竹のかさで雨をしのご。
- k87-10-16-3 6770km、542m、11:14-11:34. 晴れてくる。Bedapadar 村。
オカボ畑、イネとpaspalumは分離して、それぞれパーボイルし、bhatにする。
水稲はパーボイルしない、海岸で作っている。容易に籾殻が外れるから。オカボは容易でないので、パーボイルす
***S. glauca*は栽培せず、雑草 gaso という。大きい物は kukulange、bhatにする。小さい物はbirailange、食べない。**
paspalum はkodo と呼ばれ、脱粒性低い。コドラの単作はここではなく、丘陵地にあるという。
キッチンガーデンにはトウモロコシ、ウリ類、バナナがある。
6778km、6:15-6:35m、11:48. 峠。小さな棚田が多い。イネの中には*P. miliare*が混ざっている。
6782km、11:54. ラギ1a、後はイネばかり。
- k87-10-16-4 6782km、522m、11:46-12:32. Sankarakhol 村で止まる。サマイやラギなどをもらう。キビはない。
キュウリ、カボチャ、ヘチマ。狂気の女性がいた。
6783km、幹線に出て、Bolhanpul方向に行かずに、左折する。Tikabalに10km。SH 7.
amari =never die 死なないこと、*Ipomoea*. サツマイモにはいろいろな好みがある。
少年が指に赤いエナメルをつけていることが多い。
Soru・chakuli は、 fine/thin・roti/pancake の意。ターメリックの粉をつけると病気に利く。殺菌効果。
左右に稲田。人家には*Alocasia*. niger seed、riceが多い。
- k78-10-16-5 6789km、569m、12:55. *P. miliare*の畑の中に、ラギが少しある。トウモロコシ畑の中に、*Tripsacum* sp.
*P. miliare*は品種改良が進められているが、この地域の農家には配布されておらず、すべて在来品種と言う。
トウモロコシは稀にあるが収穫されている。イネとniger seedが多い。ターメリックやモロコシは時々ある。
道に沿ってイネの棚田が続く。風景は日本の村とよく似ている。雨がきつくなる。ターメリックはよく目に付く。
斜面にサマイ、niger seedの畑が広がる。
6806km、695m、13:15. SH 7を右折。稲田ばかりが続く。出穂前も収穫後もある、。稀にサマイ。
6811km、650m、13:23. *Cajanus*、落花生も少しはある。稲田が広がる。
6814km、621m、13:26. Gudayari 町。昼食。
yam, taro、なす、トマト、マメ、ハヤトウリ、タマネギ、レモン、モンキーバナナ、カボチャなどを売っている。
小さな寺のある町で、お祭りの旗が立っている。ハヤトウリはsambarに入れる。Patnaikさんが地元の育種家にキビのこと

を聞いたが栽培が非常に少なく入手できないので、お詫びの旨を言っている。干魚が数種売られている。

6815km、623m、14:15. SH 7を北東に向かう。左に低木の林。右は小さな水田。草地、イネ。

6822km、710m、14:25. Kalinga村から、Belhunpur方向へ右折する。

6823km、SH 7でBhelanpurに1155km。

山道、ghat road. Sanctuaryらしい山地に入り、トラが出そうな感じである。下草は豊か、サルが10頭くらいいサル1と親子2。

6833km、200m、14:43. 山地を出て、村を通る。イネと少しの*Alocasia*. 左の谷はイネ、右は明るい林地、下草はあ子どもが投石器を持っていた。図あり。ゴマが多い、x x。

6845km、稲田は収穫後が多い。明るい林を行く。Saru tree。

6850km、13:05-13:16. 休憩。植林地のように見える。左に湖。別荘のような建物がある。製材所があった。

6856km、105m、15:24-15:58. Bhanjanagar、OUAT. 農水産の指導所。水産の人で、Shankalさんの後輩らしい。

長い網、釣り針、竹で作ったわななどがある。コイの仲間、rohu, catta, mrigalなど、魚の成育が早い。

図あり。Fish chakli は栄養価が高い。

home scienceの女性談： ラギはruti, upma (?) にするという。おねりにはしない。サトウキビからは酒を作るが、ラギでは

作らない。左手にマニキュア、右手にはしない。指輪、時計。両手に腕輪。イヤリング。額にティカ。

緑のパパイヤを多く売っている。ナス、サツマイモある。右折、学校が終わったようだ。川を渡る。

編み笠の図あり。竹製で裏張りがしてあるようだ。

低湿地で稲田、野生稲も生えている。スイレン池、

6862km、町を抜ける。比較的広い盆地、水田。水が十分あるので、サトウキビも多い。

k87-10-16-6

6864km、90m、16:13-23. 魚とり。水田の縁に*Paspalum*, 野生イネと同所的に生えているが、食べないという。

6867km、Berhanpurに72km、SH 7. *Cajanus*が多い。水田の縁には野生イネが生えており、内部にも侵入している。

シロウシ300頭。パルミラヤシが増加。常緑の10mくらいの木がかなり植えられている。

年配の女性は顔面、腕、胸に刺青をしている。

サトウキビが多い。4mくらいあり、下部の茎は枯葉で巻いてある。バナナ、ヤシ店が多くある。パルミラヤシは掘っ立て

小屋に使われている。ラギと*Cajanus*の混作畑。ナスの畑もある。サトウキビが多い。

女の子は大きな赤いリボンをつけてかわいくしており、幼児ははだかんぼうでいる。

6884km、Askaまで15km。収穫後の水田が多い。ラギ畑は出穂中と収穫後がある。水田とサトウキビは灌漑が十分ある。大きな町に近く、製糖工場があるのだろう。岩山に囲まれて、一面に水田がある。

6894km、54m、17:00. 野生の*Succhalum*が開花中。

6898km、17:05. Aska 大きな町を通り過ぎる。リンゴやbanana. 条件の悪い土手下に小作人の小屋がある。

左手から幅50mくらいの川をわたり、右折する。ホテイアオイがとても多い。ナスやプランティンも多く売られている。

イネとサトウキビがx x。SH 7. ブタ20頭。

サトウキビがイネより多い。ヒマが多く栽培されている。野菜はたぶんキャベツ、バナナ、ココヤシ、パパイヤが増加。

6914km、43m、17:30. Patnikさん談：この地域ではパーボイルライスは作らない。広大な水田地帯で、フェニックス、パルミラヤシ、ココヤシが点々とある。完全な灌漑システム、道の両側に水路。

6923km、55m、17:40. パルミラヤシと水田の景観は目立たなくなる。

19:00ころhotel Motiに着く。夕食、収集品を整理して寝る。

A: 早生イネは最も早く収穫してすぐに食べてしまう。ABともに株刈りする。

B: 中生と晩生イネの収穫調整法： khani 方法と装置をこのように呼ぶ。

①株刈する。②田で、2-3日、そのまま乾燥させる。③脱穀場threshing floorのそばに積み上げて1ヶ月乾かす。④脱穀stepping/tracker。⑤穀粒と藁を分ける。⑥風選して夾雑物を除く。主に竹製の箕を使う。⑦ふるいで石などを除く。

*脱穀場で行なう。Blakはbulを去勢したおすウシ、cawはきつい仕事には使わない、打ってもいけない。

⑧きれいな籾になる。⑨以下図あり。穴を掘って、藁の太いロープを穴の底にらせん状に巻き敷き詰める。⑩穀粒を入れる。

⑪同じ稲藁ロープで上部を覆う。⑫土をかける。⑬上を覆う。Manna?。2-3ヶ月放置する。⑭内部で発熱する。無機質な

発酵か?⑮穀粒を取り出す。⑯ジュートの袋に貯蔵する。

精白は栄養的には少しにとどめたほうが良い。この地域の人にはパーボイルライスを好まない、khani でboiled rice を

作る。この方がこのdistrict (10月16日の夜)の人の好みの味になる。

87-10-17

6:30に起き、準備と朝食。To Vizag.

6947km、10m、8:35. 海まで10km。ホテルを出てすぐにdieselを入れる。プランティンと若いパパイヤを売って

6951km。町を出て鉄道をわたる。右に鉄道、2本線。水田地帯。ココヤシ、パルミラヤシ、バナナが多くなる。

6953km、8:54. NH 5. 小雨が降る。路傍の水溜りには赤芒の野生イネが生えている。

6957km、Vishakapatnumまで、254km。草地。ゆるい丘で12m。ラギらしい畑が1筆。

6966km、-20m、9:10. オリッサとAPの州境を通過。多くの水田は収穫後、休憩、またはこれから植える。

たくさんのトラックがNHの両側に止まっている。両州間の物資の交換がx x海のおいがる。こんなところにもヤギが

35頭。町を通り抜け、大変な混雑。女子大生も多そう。

6975km、中くらいの川を渡る。休耕地が多い。ブロック工場。畦に野生のsucchalum。APに入ったら、冠水田が多サイクロンの影響であろう。パルミラヤシが急増。土地改良のためか、水田に何も植わっていない。大雨になる。ヤシの葉一枚を傘にしている。ココヤシのプランテーションが数ha。ヤシガラの大きな山はロープ工場か。

6990km、11m、9:45. 211km to Vizag. 晴れ間が出る。休耕地ばかり。ヤギ300頭。右に鉄道がある。

6996km、-10m、9:55-10:12. 町で休憩。ブタと犬が多いところだ。このサイクロンは今年初めての大雨であつ休耕地は水がなかった、植えられなかったということなのか。アスパラガスのような草姿の植物は40-50cmのであった。NH 6も街中の細い道に過ぎず、すれ違いも困難であった。コンクリートの家にヤシ屋がある。ココヤシ

プランテーションが多い。水田は壊滅状態。今日は満月だが。
7000km、-16m、10:27. 7003kmで右折、北北西に向かう。海に背を向けて丘陵に向かう。
7006km、-14m、10:35. 鉄道を渡ろうとしたが、ディーゼル貨物列車60mの踏み切り待ち。
7009km、Vizagまで、200km。 *Cajanus* とラギの小さな畑。川を渡る。70km/hrの速度。生育不良のイネ。カシュナツ
海岸、ココヤシの林にパルミラヤシが混ざる。カシュナツも大きなプランテーション。水田がまた多くなる。
一部で代掻きをしていた。左に鉄道、Madras行き。NH 5. ラギの畑、1つで2 a。ヤギ50頭。低木林。草地。カシュ
ナツ。
野生イネは見られない。ヤシ屋は多い。プランティンが多い。町に入る。
7031km、11:03. 広大な水田。
7037km、11:11. 鉄道。NH5. サツマイモに似た花の木は多い。水田中に野生イネはまったく見られない。
各所に池がある。落花生。
7040km、36m、11:23. 畑作地帯から水田に移るが、何も植わっていない。川を渡っても同じ状況。野生イネはな
Cajanus の畑。
7056km、20m、11:30. 小さなマンゴ園。ダイコンを洗って運んでいる。小区画の苗床あり、イネのか?
サツマイモノキは並木の保護に作用している。良い水田。モロコシ1a。バナナ園。
7074km、18m、11:49. 良い水田が続く。野生イネは見られない。Gogu一繊維hibiscus。
7078km、11:53. また鉄道。野生イネはない。
7079km、20m、11:54-12:20. ラジエーターが過熱したので、休憩する。
用水の縁には、 *Paspalum*, *Panicum*, *Echinochloa* sp. *Africanとキビ、アワはサバンナ起源のkarifだが、
Brachiaria,
Paspalum, *Echinochloa*, *Panicum miliare*の野生種などは水生地に生育するので、ハトムギあるいはイネより後
から
栽培化されたのだろう。水生一水田一畑地一畑地で随伴した可能性がある。混合して食べる。
*S. glauca*はアワの影響か、どうか?
Cajanus, vegetableが少し栽培。繊維hibiscus、マンゴ、田の中の作業は女性ばかり。田植え、除草、刈り取りま
7090km、12:40. ヤシ休憩。雷が1回鳴る。洗濯物は棒に引っ掛けてねじって絞る。図あり。子どもがバナナの雄花
食べていた。買ったバナナは甘くなく良くないと言われたが、十分に甘酸っぱく、うまかった。
Vizagまで115km。水田はサイクロンで冠水。製糸工場があり、臭う。
7096km、川を渡る。幅は100m以上はある。泥水で濁っている。交互にしか渡れず、雨は激しい。
7100km、23m、12:56. 岩山を越える。 *Cajanus* とgoguは少ない。フェニックスに壺。日が照ってくる。
ラギ2aが1ヶ所。パルミラヤシの葉の家が多い、傘も作る。
7112km、川を渡る。水田の中にサトウキビが少し2-3。緑野が続く。前方のパルミラヤシの向こうは海か? *Cajanus*.
ラギ少し。
7124km、13:20. 7125km、50m、13:22. Vizagまで85km, 右手のSunabera方向には行かずに直進。
Cajanus の畑で小休憩。ヤシ園。トウジンビエ3a。ほとんどイネ水田。
7129km、パルミラヤシの家が非常に多い。 *Succhalum*、マンゴ園。

k87-10-17-1

7141km、13:42. カシューナッツ。池は多いが、野生イネはない。
7150km、30m、13:50. 50m幅の川を渡る。トウジンビエが少し。落花生を干している。
タバコ畑。Goguは良くある。大きな町が近い。稲作地帯になる。人家近くに野菜の畑。タバコ、ラギ2a。
7163km、川幅100m、氾濫しかかっているのをわたる。サトウキビ2ヶ所。良い水田。パルミラだけと言う感じ。
Cajanus, サトウキビは多いが、イネは圧倒的に多い。落花生干し。Goguも多い。用水中にガマが生育。
7178km、22m、14:25. ラギ1ヶ所3a。落花生。*Cajanus*. ラギは時々出てくる。ナス、落花生、茶？
トウジンビエ1a。落花生が多い。トウモロコシ5a. バナナを葉で房ごと包んで出荷する。
7194km、42m、14:42. Vizag. へ17km。トウジンビエ2a。養鶏場はヤシの葉屋根、6棟。丘陵を登って、Vizag. に近づく。
ココヤシのプランテーション。
7210km、30m、15:00. Vizag市内に入る。
7213km、60m、15:07. 昼食、AI office。
キビはBiharに非常に多いという。

87-10-18

雨、5:00に起き、6:00に空港。8:05にMadrasに向けて離陸。Security checkでカメラを写すように言われたので、各1枚取った。
タバコを一箱取られた。
930にMadrasに着く。周辺をぶらつき、長時間待つ。
12:15に飛行機に乗り込む。
13:30バンガロールに着く。昼食。
15:00ゲストハウス。Sheetharamさん出迎え。

87-10-19

8:00に起きる。8:30にUASに行き、午前中は見学と打ち合わせ。
12:30昼食。ゲストハウスに戻り、洗濯や手紙書き、種子干し、などで過ごす。
16:00収集地の整理。No. 地名、標高、habitat。
19:30夕食。
20:00から標本整理、2時に寝る。*Coix* (Assam) は今回もらえる。
見学のまとめ：
Eleusine coracana の実験： 1. 水。2. Biofertilizer, organic, chemicalの比較。3. Intercrop
イ： Intercropping、同時に播く、移植時期を変える。1 *Cajanus* との間作、時期。2 *Cajanus* を収穫後に移植。
前作があった
方が (Nとmoisture) 、生育が良い。ロ： ヒマワリとの間作。ハ： Local system ; niger seed, sorghum, sunflower
との農民の
作付け法の検証。光の量が減少するので、ラギの生育は落ちる。収量が落ちるのか、生育は良い様に見える。
ニ： 降雨が少ない時の比較。散播、移植。
E. africana は草丈が高い、fingerが長い。ホ： Indaf 品種に対して、肥料の量を変えて、比較栽培している。へ：
Paspalum
肥料の量を変えて比較。病理も。ト： ウィルス、いもち病blust耐病性の比較。Chemicalの量、品種と耐病性の比

各9プロットで試験。チ：苗床におけるblustの発生について。品種とchemical。感染するとすぐに、葉に斑紋が
出：移植条件について。F3, F4の分離試験を行なっている。本年は雨がなく、播くのが遅かった。Rabi季のラギを播
く。

10月2週。Indaf 7&9. 幅広い分離が見られる。ヌ。純系、固定系統を作る。耐乾性。

P. miliaceum: 日本の物も同時に播いてあり、交配するという。草丈は中くらいだが、特徴は良く出ている。

Paspalum: cult. type 穂が大きくなり、fingerが多く、種子も多数ついている。ラギの穂のようにごつくなり、
指が広がらな

い穂の形になってきている。かなり洗練されてきている。

*Coix*も少しある。包鞘はsoft。Assamで収集。

P. miliare: 肥料の量と種子の大きさ。

日本のアワもよく育っている。Tefが少しあった。ラギの遺伝資源の畑、2 x 2m²くらいが1区画になっている。

87-10-20

8時近くにおきる。朝食後、UASへ行く。今後への助言については省略。

Moringa sp. Jafuna半島。標本干しをやってもらう。Coconutを飲ませてもらう。昼食。

13:20ゲストハウス。16:00 Seetharamさん宅へ行き、買い物。20:00 Shankalさん宅で夕食。21:30に帰る。

87-10-21

8時近くにおきる。花火がうるさく、夜は時どき起きた。今日も一日中、パンパンやるだろう。

10:00 Kraft Exhibition Industrial Museumに行く。13:10に戻り昼食。17:00-20:00 routeの整理。夕食後
寝る。

87-10-22

6:30に起き、準備と朝食。8:40ジープの迎え。9:00, GKVKキャンパス、ICRISATの3人グループが北カルナタカのトウ
ジン

ビエの収集に来ている。*Echinochloa*の2種の系統分化に関心を持っている。藪野先生の論文がほしいそうだ。

12:00, Horticultureの農場の見学。分配作業は数が少ないので、もう少しで終わる。

13:30昼食、Dr. Shakaneの弁当をもらう。ドーサ3-4枚、vegetable curry 100 ml、オムレツ3枚、普通は1枚だろ

14:00-15:00分配作業。16:00にゲストハウスに戻り、種子の整理。20:00夕食。21:00散歩。

昨夜がピークの光の祭りは朝からクラッカーが鳴り響き、大変であった。本日も残りのクラッカーが散発的に鳴り
響く。

莫大な量の花火が消費されているようだ。コーランは早朝から鳴り渡る。以下省略。

87-10-23

4:30花火、コーラン読経、音楽で騒々しい。8:30に起き、9:00朝食。出発準備をして、12:30空港に向かう。13:20
に着き、

Shankarさんの見送り。14:00チェックイン。荷物6個は放り出されていたので、被害にあったかも。気候は初秋のよ
うで涼しい。

快適である。Shankarさんは途中でココヤシを飲ませてくださった。Rajさんには文具類を渡すように頼んだ。省
15:00に離陸、17:30デリーに着く。NBPGR, Ambassador Hotel, Pakistanに電話するが繋がらなかった。

20:40夕食、21:30寝る。

87-10-24

8:30起きる。標本整理。午前中電話待ち、パキスタンの阪本先生と連絡とれず。

昼食後、NBPGRに電話、Kopparさんが出て、明日の夜訪ねてくることになった。USSR行きは来月になったらしい。

	JCICに行くが閉鎖、IAでリコンファーム、PIAも半部休み。15:20, Ambassador Hotel を予約。16:00, J.Hotelに戻り休憩。
	19:00夕食、PKに電話。Islamabadの回線は作動していないと言う。22:00過ぎに寝る。
87-10-25	8:30起きる。9:00朝食後、明日の準備をして、Kopparさんを待つ。Coix中のイネの皮むき、赤米の見本がほしい。13:00まで待ち、コンノートプレイスに行く。昼食後、シリアスな映画を見る。インド独立史を15分くらい事前に見せる。
	映画の結末が十分理解できなかった。18時頃終わりホテルに戻る。連絡なし。20:00夕食に行く。
	価格: basmati rice, 1000Rs/quntal; bajera 200; moongbean 400; wheat/barley 200-300; millet 200Rsくら
87-10-26	7:00起きる。準備作業、朝食。9:00-10:30. AH, JCIC, PIA込んでいてリコンファームできず。13:30に空港T2。14:45チェックイン。16:30セキュリティチェックはとても厳しくされた。すべて検査された。17:30離陸。
	18:30, Lahoreに着き、 またスーツケース調べられる。19:00, Hilton Hotel. 21:00夕食。Anwarさんに電話、阪本先生はGiligitで足止めされているという。
87-10-27	Lahore to Delhi, 7:00起きる。8:00にPIA officeに行き、結局、ウエイティングリストにのせてもらい、デリーに戻ることにする。
	10:50空港に行き、待つ。12:35に乗れることになり、急いで機内に乗り込む。13:20離陸。14:30デリー着。
	15:30, Ambassador Hotel 着替えてジュースを飲みに行く。Dr. Anwarには電話できず。事務処理。外務省の許J. hotelへの移動予約など。
	20:30夕食後、21:30, Janpath Hotelに予約に行くが、だめだった。D.Murphyの南インドの経験を読み始めたが、面白そう
	である。22:00過ぎに寝る。
	Lahore の印象: 夜着いて、朝出るために、ほんの少し街頭を歩いたに過ぎない。空港は非常に厳しく、Hilton Hotelも
	入構は厳しい。町並みは美しく、よく整備されている。日本車が多い。比較的乾燥しており、涼しいが、植物はデリーと
	それほど変わらない。人々はさっぱりしていて、比較的親切である。ムスリム的ということか。ホテルは最高級なので、
	東京とまったく変わらない、内容も、値段もであった。タクシーやオートリキシャはデリーよりも少ない。空港のポーターの
	システムは悪くない。IGIAに着く。ここも前払いの新しいシステムをタクシーにとっているの、余分なお金を要求されない。
	Hilton前の動物園はよく整備されているようだ。ウエイティングリストは出発の30分前にカウンターがしまってから、やっと
	手続きしてくれる。何もできずに飛び乗らねばならない。面倒なことだ。シートは良いところであった。
87-10-28	7:30に起きて手紙を書く。8:30朝食後、JH, JAL, SBIと順次廻る。13:30, Ashk Hotelで昼食。
	14:00 外務省に行くが個人では許可が取れないと言う。ツーリストオフィスに行くが困難。15:30ホテルに戻る。

16:00 IA, JCICに行く。Gauhati行きのチケットを買う。17:20, JHに戻る。事務整理。20:30夕食に行き、カシ
ミールショップ
で遊んで帰る。5歳の長女がいた。83年以来の付き合いだ。23:30お茶を飲んで寝る。30日にGauhatiに行き、5日に
デリーの戻る予定で、許可なくとも行けそうで、往復のチケットを買う。

6:30起きる。朝食後、雑貨を買いにコンノートプレイスに行く。11:00に戻り整理や手紙書き。14:00に昼食に行
き、その後は

自然についてなど本書きの構想を練る。20:30夕食。

アワ・キビ、モロコシ・トウジンビエ・ラギは水田に入らない。パーボイルしない。すなわち、植物的、加工法でも
別系統の

起源であろう。ラギなどは集約的に移植する。

サマイ・インドビエ・コドラなどは水田、準水田に入る。パーボイルする。近縁野生種は水湿地に生育する。

まとめ： インド中部（東西）の印象。

A. Maharashtra; Bombayは大きな海の見える都市、たった3時間見ただけで印象は乏しい。都心は大変なビル街
あろう。対岸から見ただけだ。アラビア海を見ることができたのはよいが、特に強い感じはしなかった。拾った貝
殻も途中で

割れてしまい、捨ててしまった。Puneはマハトマガンジーの拠点であったのか、まとまった町という感じがした。
白いガンジー

帽に綿服はむしろ清潔なようだ。Karnatakaの近くまで南下したが、印象的な景観はなかった。

B. Orissa; 東ガーツの山中は熱帯林らしく、面白かった。同じ1枚布のサリーでも着方が違うし、好みの色も地
域によって

多数派があるようであった。村落部の年配の女性はTシャツを着ていない。すそを端折って、袴のようにしている。
男の着る物も、若い層は同じだが、次第にnativeな服装になる。禪、ドーティ、ピジャマとかいろいろである。

Sheekの人々は、各地に入り込み、商業をやっていて、金持ちではあるようだが、かなり反感ももたれているよう
Panjabiは性格が南インドとはかなり違う。Kashimiriはまた異なった性格であるし、民族とカーストなどが複雑に
絡んで

なんとも言いがたい多様性がある。

一般的なずうずうしさというものは、都市的な特徴で、田舎ではそういうことは少ない。親切というもの、恥を知
るとのこと

も存在している。神様の信仰を押し付けられるのは困る。インドは多様な宗教を受け入れて、成立しているわけ
であるが、

ヒンディーとムスリムはとりわけ、実のところ受け入れがたいことがある。他州の人々が大都市に出稼ぎに出るの
は当然

であるが、田舎にも移動性、移住、があり、また小都市での就業がある。これらはどうした理由による物事である
のか。

宗教、カースト、集落、tribeの対立で流亡したとして、山奥に新しい村を形成するのに、現地受け入れの支障はな
いのだ

ろうか。山村で日々農作業に生きることに安楽な、と言うより少なくとも心の平安があるかということ、それはわからない。

自由と孤独はたぶん一体のものであるから、自由を好むのなら都市に孤独に暮らすのが良いのだろうか。O氏は自を求めて、今の生活を選択したのであろうが、孤独は毒をもっているので、適度に毒消しして、人と接することも欲しくなろう。

人間の個々の存在というものは、結局、不定形で、ドロドロとして流れながら、アメーバーのように何らかの形はようやく

保っているのであろう。集団一個人そのせめぎ合い、社会的な毒を消すための犠牲を求める。人の世に染まるのはともかく、

やむを得ずとしても、それでも理想というものに向かうべきで、あざ笑いの声はそれはそれで、傷つきつつも、聞き流すこと

であろう。30-40年前の暮らしが良かったかどうか、今が良いかどうか、それは判定できない。今をよりよく暮すことが

良いということなのだろう。何にしても矛盾として表裏があり、いかんともしがたいところである。集団・社会の運営は鬱陶しい

ことである。変人として暮らせばよいのだが、何にしてもほどほどという事であろうか。わかる人は言わなくてもわかるし、

わからない人は言ってもわからない。だから、何も言わないと言うことになる。

自然の中で遊ぶこと：

1. 子どもにとって重要。通過すべき経験。その時楽しい遊び。
2. 有経験： ①成人になるに当たっての基礎、知的、肉体的、精神・宗教的、社会的。②人生を豊かにする思い経験の発展、趣味。③自ら働きかける対応、遊びの高度化。④感性、感覚が鋭い想像力。
3. 無経験： 基礎的体、心身の発達阻害。

自然観、自然のとらえ方：

個人として、分析的に； 感性— 文学、芸術 五感 （言語、音、色、形、匂い、身体表現など）

理性； 自然科学的

社会として； 宗教・思想—精神的、資源—物質的、観光文化資源、金銭になる。

再び、個人として、統合的自然観。

思索すると抽象的でわからない。あたかもどうでも良いかに言うが、避けたいがために、それでは人間はいかに行動し、

生きているのだろうか。具体的にたとえば、金と言う価値基準だけで、生きているのだろうか。日本の現状からすれば、

大方はそのように見えさえする。しかし人間の行動はその一面だけで、決まるのではなく、抽象しきれない、抽象の漠然

こそ、その心の中、行っていることを知りながら、抽象する

すなわち、体系だてるという努力は、自然を深く求めるに必要なことであろう。現実には我々は生物としてのみ生きている

わけではなく、外界自然を感性理性縋い交ぜにして、抽象化しつつ、そのうちに暮らしているわけである。自然、半自然、

そして本当の自然というものは抽象化しきれない抽象の自然というものであろうか。抽象化すなわち、本当の自然を嫌う

ところに、現在の自然観の問題がある。

思索、抽象 religious。自然（保全）—半自然（農耕—農業—工業）—反自然（破壊）

半自然は現在の日本人の好む自然で、自然とは主にこれを指す。原初的な自然は好まず。

このことは成立するか： A. 欧米の自然は単純。破壊の結果、controlしやすい。牧場、親しみやすい。畑。Open。厳しい、粗放管理、対立的。他界概念はない、天国はどこにあるのか。

B. 日本の自然は複雑。鬱蒼としていて、親しめない。山岳。神や何かに住むところ。他界。Close。

厳しくない？ 調和的。田園。集約的管理、水田。

C. 日本の自然が厳しくない。温和な四季があるとは本当か。北陸の雪、梅雨、台風、旱魃、洪水、低温、フェーン現象。

火事が多い。火山、地震、山岳。多様な日本の気象のどこと地球のどこを比較して、日本が温和であるといえるの郷土愛を除いて、ひたすら温和で豊かな自然を強調できるのだろうか？住めば都で、居住するところを愛することは身近な

自然を大切にすることでよいことであるけれども、その自然を如何に見るかは、また別の尺度も必要であろう。

逆に言うならば、砂漠は厳しいだろう。しかし、そこを住処とする人々からすれば、郷土愛というか、何かしら離れがたい

想いがあるわけである。現実を受け入れてしまう、心の性質というものはある。また、砂漠を美しいととらえることもできる。

A 自然学とは何か、—a 野外教育—子どもの冒険心。A河合、今西、生科？。A柴田、青木、森田

欧米の対立的(管理的)自然観とはどういうことか。ヨーロッパも東西、南北で、多様な自然があるのであって、このうちの

どれをとらえて、対立的とか、厳しいとか言うのだろうか。和辻の単純な風土論を再び読む必要がある。ヨーロッパ人は

自然に親しんでいるのであって、対立的という意味が、どこから出てきたのかわからない。日本人は一所懸命と言うことで

半自然に対せさせられることで、その半自然の美しさを現実の美しさよりも、非現実、抽象の美しさ、観念として信じざる

を得なかった（信じさせられた）のではないのか。日本人にとって山は遠くから見て美しいのであって、山中に分け入って

美しいのではないのではないのか。そこには祖霊がおり、物の怪がおり、必ずしも、決して親しめる場所ではないのではないのか。自然の中に真の自然（他界）が見え隠れしているのではないのかと思う。それでは西欧の自然に

87-10-30	<p>はあるのか。せいぜい狼しか出ない。他界はない。しかし、妖精はいる。眠りの精、ギリシア神話、森の精はい 晴れ。to Gauhati。 6:30に起きて、準備。9:00朝食後に、郵便局に行く。2箱、2スーツケース、1バッグを預ける。 11:30チェックアウトして、JCICを経て、空港に向かう。昼食。 13:55 IAのdomestic terminalに着く。15:45発が遅れて、18:00になり延々と待つことになった。Taxiの爺さんが IAへ 行くために乗ったことを覚えていた。人のよさそうな人物であった。Taxiは法外な料金要求はあまりしないが、 オートリキシャはひどく、taxiより高いこともある。したがって、taxiのほうが無難で、実質的に安く妥当であ る。レストランで ジュースを飲む。17:00にセキュリティチェック、17:45に乗る。17:30には日没。18:00に離陸し、薄闇の中を上昇 する。 デリーからPatona & Gauhatiに向かう。19:15, Patona着。19:50発。20:55, Gauhati着。小林さんが日本人とわか 即戻される。21:18発で1:00デリー着。Gauhati着陸時に、ブラマプトラ河の水面に映った満月が唯一の土産であ</p>
87-10-31	<p>1:30にYork Hotel at CP に泊まる。8:30に起きる。10:00に朝食後、部屋を替わり、Jaipurの予約を取る。 11:30-18:00隣のブロックの映画館に行き、3本見る。1 途中でよくわからない。2 法律家。3 ジプシーUSSR製 18:00-19:30夕食。 各映画の上映前に、インド史を15分ほど見せる。The tribal resistance。1はよくわからないが、2/3もしん どい映画であった。 ダージリンからカリンボン、パトナ、Bihar,カルカッタのコースで走れたらよいかと思う。アッサムには今こだわ らなくても 良いと思う。阪本隊長らが早くインドに入国されることを願うが、しかしいまだに山中にいるのかもしれない。</p>
87-11-1	<p>5:30に起きる。6:10に1Fに降り、運転手の到着を待つ。デリーの朝は早く、薄明かりの中を活動が始まっている。 朝は寒い、冬の寒さはどうであろうか。霧が出る。 7399km、6:35. York Hotelを出る。デリーの朝は寒く、火をたいて暖を取っている。ショールか小毛布を播いてい る人も多い。 7401km、6:40. Gasを入れる。45リットル。ブーゲンビリアはよく咲いている。ピンクのネットアイサクラも良く咲い ている。 ジョギングをしている人が稀にいる。NH 8、空港を通り過ぎる。Delhi-Bombay Road 7421km、7:05. Road tax 20Rs. Delhiの市境であろうか。子どもがマリーゴールドのレイを売っている。デリーの 郊外は 荒地だが、野菜や花の栽培がある。街路にユーカリが多い。NH 8は整備が良い。80km/hr 7424km、農地が多くなり、トウジンビエが少しから次第に多くなる。収穫期である。ラクダ1頭荷役、ロバ10頭。 7440km、7:31. 農村地帯に入るが土地は荒れている。 7454km、7:45. モロコシ少し。ラクダによる耕起。土壌表面は著しく乾燥している。火山灰土のように赤く、細かい 土。 コムギでも播くのであろうか。Haryana州に入るとラクダが多い。野菜畑がとても多い。ラクダも力が強いようだ。</p>
k87-11-1-1	

ウシではなく、ラクダが荷車を引く。

7469km、8:00、Jaipurまで192km。水牛もいるが、ラクダのほうが2倍も大きく、数多く見る。干草、石などいろいろ運んでいる。2 x 2.5mほどのプロットに少しずつ灌水している。もう暑くもないのに、乾燥しているのは、雨が降らない

からだろう。畑の境には常緑樹が植えられている。

7503km、8:33。トラック転倒している。畑作地帯、少しずつ水遣り、何で運んでいるのだろうか。トラックのドライブイン

所々にある。

7508km、Jaipurまで154km。ここでRajasthanに入る。レンガ工場2。所々にチェックポストがあり、taxを払う。パンパスグラスのような植物が水路沿いに多い。右に岩山が見えてくる。広大な地域が栽培されている、おそらくコムギがすでに播かれているのであろう。

7524km、8:57。井戸の近くは水が施されていて、苗床、野菜が作られているようだ。植木はアカシヤの1種か?

7526km、9:00-9:40。Peacock restaurantで朝食、土産も売っている。ヤギ、ヒツジ50頭。小さい交差点に出る。バナナ、リンゴ、ダイコンなどを売っている。長い毛のブタがいた。車の修理屋、レストラン。トウジンビエを所々に見る。

イモノキがあるので、地下水位は浅いようだ。左の遠くが煙って見えるのはなぜか?

サリーの人はいない。Panjabiかスカート。

k87-11-1-2?

7552km、10:05。ミラーワークのスカートやショールをまとっている。朱赤色。馬に乗っている男が2名。ウシも耕使われているが、むしろ少ない。ラクダがよく活躍している。人家の近くには畑があり、水を与えて、野菜やハーブを作っ

ている。灌水畑を見たが、ヒユらしき物が多く発芽していて、イネ科は出ていない。何が播かれているのか?灌漑をどうして

いるのか?井戸のないところでもかなり水を与えている。

トウジンビエか、風選をしている。ネナシカズラがきつくまとわりついていて。Semi-aridの乾いた感じは心地よ

7577km、10:45。Jaipurまで 87km。水のない川ワジを渡る。良く耕作されている。右の岩山には特に高木はない。種子は条播。ずっと同じ景色。無数のトラックがいる。トウジンビエの殻が山になっている。図あり、上向きが多いが、下向き

も少しはある。サリーの端を肩にはかけない。

7613km、11:22。ラクダばかりだ。やはり水がないのだから。小さな水無し川をわたる。雨季には流れるのだから砂地で浅い。ショールは黄色、シャツはオレンジかピンク、スカートは青と赤。図あり。ワジが多い。

左右に低い岩山。乾いた土に、原色や白が目にしみる。鮮やかに。低い峠を越えたら、少し緑が多くなった気がする。7634km。右に小さな城が岩山の上にある。イモノキも多い。畑の畦に草がある。土壌は砂のようだ。岩石の家が岩のすそにあり区別がつかない。屋根は草で葺いてある。男は布を頭にくりくりに巻いている。岩山にはすでに落葉した木が

多く、まるで初春のようだ。サル3匹いた。フェニックスヤシが少し出てくる。水気が見たよりも多いのかもしれない。

野菜畑が多くなる。Jaipurが近いからであろう。

7654km、12:00、Jaipurまで12km。右折。運転手はここでは何も買うなど助言する。

7656km、12:03. 到着。13:10. 城の上にゾウにのって行く。乾いた土地の巨大な城。恐らく当初は石組みだけであろう。セメントのはげ間から石組みが見える。左手に湖と宮殿。使役ゾウは数10頭はいそう。市内に向かう。緑が

多くなる。水遣りはモーターポンプでやるようだ。City palaceのmuseumを見る。

7665km、13:30-14:25. 昼食、Kwality Restaurant, city palace。サリーの人もいるが少ない。

ヒシhitapaの実を売っている。3-4cmくらい大きい。緑から濃い紫色。

7672km、15:25. Rajasthanの女性集団の行動は面白そうだ。日曜日なので、半分くらいの店はしまっている。途中、empoliumによって、そのままDelhiに向かう。お茶は朝食と同じところでとる。

2030、York Hotelに戻る。途中でお茶にした。21:00、Ginzaで夕食。

20人ほどの集団行動を取っているところは、昨日の映画のジプシーとそっくりだ。服装も似ている。RajasthanやGujaratあたり

から西へ流れて、混血した可能性もあるのだろうか。アーリア人は西から進入したのだから、小集団が西にさまよっても

不思議はない。さまよいの始まりは戦争だろう。ユダヤ人にしても、中国人、今日ではベトナム人、カンボジア人なども

そうではないか。故郷を捨てても自由を選んだわけだ。チベット人がJaipurでも服屋をやっていた。彼らも出てきたわけだ。

自分自身だってそうするだろうね。家族、自由が第一、戦争に不本意に巻き込まれることはない。第3国に逃げても良い

わけだ。

Pink city; Jaipurの風宮殿がpinkの砂岩でできているので、これに合わせて商店もピンクのペイントで塗っている。

面白い町だ。外国人も多い。ゾウに乗ったのは楽しかった。車の3倍の高さはある。ラクダも背が高い、力もある。しかもスイギュウと違って、不敵な顔は大いに気に入って。猫に似て野生を顔に残しているのだろう。城主はと比べて、質素で悪くない。天文台の日時計は割りと正確であった。星座ごとの天球儀があったが、見方は不明。

87-11-2

早朝著しく寒かったので、何度も起きた。晴れ。8:30起床。

hotelではルームサービスしかないと言うので、外に出て朝食。CPを一周して、Thai Aにより、映画館の隣のレストランに

入った。外務省、内務省、Indian Airline (JCICのA氏の意見) 外務省を通して1年ほど待つて許可を取ることにアッサムは非常に困難で、有力な政治家を知っていれば可能性は高い。東京・神戸のインド大使館、総領事館。外務省第2文化課が窓口。

11:30-13:00 telegraph office。Dr. Anwarに電話する。

13:30に出て、外務省に行く。ダージリンは良いが、カリンポンはだめだと言う。

15:30にIndian Airline office。ダージリン1週間。入城が厳しい。寒かったせいはかなり疲れを感じる。

探検と冒険の違いについて再考せざるを得ない。自由な旅が冒険なのだろう。自由以外の目的を持った探検とは別評価を、それも以前書いたよりも高い評価をせねばならないと思う。冒険探検部とはそのまま良い名前だ。何のことはない。気ままに行けばよいので、人と競うことはないのだ。どちらにしても限界はあるのだが、自由が最高だ。

Gauhatiの件は結局なしになった。換金のコピーは一応認めると言う。IAのスタッフは許可についてよく知らないと言うこと。

Pakistanは2時間半かけても、コンタクトできず、まだ阪本隊長たちは山中のようだ。

87-11-3

630に起きる。7:05にホテルを出る。7:30空港のエアバスターミナル。7:55にチェックインし、8:50にIC401に乗11:30頃カルカッタに着き、空港でGreat Eastern (4sters) を予約する。Singleがない。集合タクシーで昼頃着1300昼食後に、本屋でインドのNaturalist Clubの雑誌を買う。

15:00に東京に電話して、Islamabadへの電話を仲介するように頼む。とても湿気っぽく、サイクロンか、雨降りになった。

路面電車が走っているのは楽しかった。19:00に軽食を取り、23:00 (2:30 JT) まで電話を待ったが、かかってこなかった。

87-11-4

7:30に起きて準備、新聞を読む。9:00にホテルを出れば十分だ。

9:45少し前に空港で朝食。10:35チェックイン。11:35に離陸して、Bagdograに向かう。3分の2は外国人だ。

サイクロンの影響だろう、小雨。12:30に空港に着く (24C)。

12:45 taxiでダージリンに向かう。メーターはすべて壊れている。バナナが庭に植えてある。ホテアオイが多稲田。NH 31 ダージリンまで94km。空気は涼しい。バナナが多く、ヤシは少ない。水田は出穂中と休閑地。2期作なのか、

早生なのか、恐らく後者であろう。ウシはいる。ホテアオイは開花中で、30cmくらい。Alocasiaは湿地に多い。大きな茶畑がある。パイナップルやクワズイモもよく生育している。バナナ (開花中)、リンゴを売っている。

イモノキも多い。右に鉄道。13:10に晴れてくる。ルンギーをつけている人が多い。

13:15 ダージリンまで77km。Srigli方向にSH 21を右折。2週間は延長してダージリンに居られるらしい。

茶は平らに刈り込んでいる。大木にはランがたくさん着生している。miniSLもあるが壊れて走っていないらしい。紫色のイネが時々ある。

13:25, Skuna Station 山林の中を縫って、上り坂になる。大木が多く、下草や灌木も豊かである。中くらいの木がなく、

比較的明るい森林である。

13:35、ダージリンまで65km。マタタビのように白い葉がついたつる植物がある。アゲラタムが多い。

Maharashtraでみた黄色のアンズバナナがある。顔立ちがほとんど日本人のような人が多くなる。木立の新鮮な匂いする。ポインセチアは2mくらいの木になる。

k87-11-4-1

13:47. 軌道上にCardamine 2 個体。Mazus japonicusもある。Bidens sp. も多い雑草である。

14:07、バナナがある。ルドベキアが多い。プルメリアも開花、デンドロビウムも着生している。

14:10、ダージリンまで55km。標高が上がり、眼下にSligliが見える。比較的大きな町が見える、200-300戸。

Inhale 村。竹やぶがある。カンナ、マリーゴールド、ケイトウ、gerden flowers、インパチエンス。店にはカリフラワー、カボチャ、アサガオ、オシロイバナ。

14:22、ダーズリンまで50km。冬は少し雪が降るそうだ。右に溪谷、斜面は茶園。薄雲と同じ高さにある。左の路肩にあるlimestoneは有名な古い石だそうだ。オジギソウは少しある。ランタナは多い。大型のササ。右の谷は広く、茶園。モウソウチクほどある大きな竹。日本の山村とよく似ている。

14:32、Dまで45km。シダも種が多い。雲の中に入る。白い大きな花の*Datura*、直径15cm、を多く見る。かなり寒くなってきた。マツなど針葉樹が多くなってきたが、バナナもある。Solidago。赤いハイビスカス、バラ、コスモス。ノボタン、エーデルワイスの類が出てくる。

14:55。DarjilingとSligli間のバスは多い。道の大修理中。

15:00-15:25、昼食、momo、vegetable chowmien。キャベツ、ナスはよい品種がある。桜が咲いている。

15:35、Dまで30km。ヒメノボタン、ダイコン、アマランス、木性シダ、キクが満開。トウモロコシ、サトイモが栽培されている。Solidagoが多い。

15:51、エンスト。15:59、Dまで20km。Sonada 村、寒い。

16:05、ダリア、赤いダイコン、ハヤトウリ、タマネギ。テラス畑にトウモロコシが多い。アジサイらしき物が多キャベツ畑。子どもや女学生たちが下校する時間。アジサイの花がまだ残っている。鉄道が道路を横切るのは、勾ゆるくするためであろう。NepaleseやTibetanも多い。針葉樹の疎林。トマト中玉、バナナ、トウガラシ大、カリフラワー、トウモロコシ。左手に立派なゴンパがある。10階建てくらいの、黄色の屋根はラマ教の学校。鉄道の終点はループ線になっている。

6:45、Hotel Sinclairに着く。

17:00、東京に電話をカルカット経由で予約して、21:00に繋がるが、途中で切れる。

21:45、東京から電話が繋がり、阪本隊長らの全容を理解する。

11月16日にデリーに入国して、2名とも問題はない。その後、バンガロールとハイデラバードを廻って、11月20日頃にデリーに戻り、合流する。別行動をしてほしい。11月2-3日の朝までかかって、やっと連絡できたようだ。

21:45-22:30、夕食、マトンカレー、ダル、チャパティ、プディング。ビールはうまかったが、ひどく悪酔いしClub 2000 super strong beer という名前。たった1本弱だったのに、ドキドキして、気持ち悪くなった。

87-11-5 3:00に起きる。4:00にモーニングコールがあり、フロントに下りる。4:30にTiger Hillに向かう。

k87-11-5-1 5:00、Tiger Hillの展望台、150名ほどが来迎を待っている。カンチェンジュンガが良く見える。谷には雲が厚く垂れ込めている。*Mazus*, *Traxacum*, *Roripa*, *Carseoraria* など採集。

Tiger Hill 標高2590m、表示は2698m。高度計は2490m。三回目の補正を行なう。+208m。

5:50、日の出、月は満月に近いが、5時過ぎに西に沈む。

- k87-11-5-2 6:30、ゴンパにお参りして、コーヒーを飲む。*Cardamine*採集。
7:00にホテルに戻る。7:30に朝食、8:08から観光に行く。
- k87-11-5-3 8:20、Bazar. ダイコン、ハヤトウリ(トゲあり、無し)、ナス、キャベツ、レタス、ジャガイモ、サツマイモ?、トマト、タマネギ。
ショウガ、カリフラワー、カボチャ、マメ、茶3種、ニンジン、キュウリ(大小)、小レモン、バナナ、リンゴ、ブント、ムサンビ、
ニンニク。
- k87-11-5-4 9:00-10:43、Himalaya Mountainering Institute、2150m。サクラ pongyung と呼ぶ。Dubiと呼ばれるシバのような
雑草は乾燥せず、神に供えると言う。ミチバタガラシ、タネツケバナ、*M. japonicus* と 多年生の*Mazus* sp.
テンジンrock
- k87-11-5-5 11:15、路傍でナズナ、*Cardamine*、*R. dubia*、ウワバミソウは大型。茶園中を走る。
- k87-11-5-6 11:30、路傍。
12:00-12:24、Tibetan Camp 紬やカーペットを見る。作り方の写真を撮る。イラクサsisnoはdalに入れて食べ
Darjilingまで、5km。こんにちはやさようならを知っていると言うことは多くの日本人が来たのであろう。
Hiroyuki氏が教え
たのかもしれない。100人以上の女性たちがカーペット製作に励んでいた。
12:55、bazarに戻る。下に下ると、植物園であった。スギdupi。昼食、gaythuk、=うどんtsukpa。
HMIに行くが閉まっていた。明日10時に開くと言う。キッチンガーデン:エゴマの種子をピクルスにする。カボ
チャ、キンレンカ、
エンドウ、レイシ、菜っ葉類、バナナ。
16:45、Hotel Sinclairに戻る。20:00夕食、21:00ねる。
Foreign Resistration Office: Kalingponは1泊2日。Sikkimは2日か2週間のトレッキング。Darjilingは15日延
長可能。
Darjilingの感想: 2000mの大きな丘の上に数千の家々。すそに広がる茶畑。チベット、ネパール系諸族、ベンガル
人他、
各地からの人々が渾然と豊かに暮らしている。衣類も良い。食べ物も豊かである。家並みも美しいし、人柄も良
く、笑顔が
多い。学生たちが満ち溢れている。小さいけれど、植物園や動物園がある。ヒマラヤ山岳研究所の展示は少ない
が、非常に
貴重な物だ。ラマ寺ばかりでなく、大学もある。他にもいくつかの立派な大学があり、全インドから学生が集まる
そうだ。
雄大なカンチェンジュンガが目前にあり、気候も温和そうだ。
7日頃から、2-3日ストライキがあるらしく、軍隊の警戒が厳しくなりそうだ。Delhiのデモもこれと連動していたわ
けだ。
自治権の拡大を求めており、全国の辺境州はすべてそうで、それがゆえに今回はアッサムに入れなかったわけだ。

Kalingponは行けそうだし、ひょっとするとSikkimも入域できそうだ。時間はまだあるので、ぜひもう一足伸ばしたいものだ。

運転手はRai族で、助手は妻の弟だそうだ。数年前はネパールのカトマンズで運転手をやっていたそうだ。相変わらず、

100%ネパール人だといわれている。Tibetan Refugee Campの女性たちは問題の渦中にいながら、大変に明るい。たくましいものだ。中国からチベットの独立ということはあるのだろうか。軍事力では無理、自治権拡大ということであろう。

難民の数は一体どれだけののだろうか。各地で多民族が混然一体となって、暮らしている。日本でも多数が少数を

押し込
込んでよいわけはなかつた。100万人以上の少数はいるのだから。選いを谷証うへさなつた。うへしは言ひ、多
数が

87-11-6

8:00荷物の整理中に、急にNagalandの女の子たちとNepalの国境に行くと言った。朝茶を飲んで、チェックアウト

する。運転手が言い出した事だった。

900発。町は警戒が厳しくなっているが、許可申請は10:30からだから、午後から行くことになる。子どもたちは学校に

行く途中。お茶を買う、bazarを散歩。

10:20 FROでKalingpon行きの許可を取る。Assamはカルカッタで取れると言う。日本大使館がインド政府に手紙を書けば

どこでもいけると言う。

10:35、2200m。サクラは満開だが、少し肌寒い。下降してSiligliに向かう。そこで彼女をおろして、Kalingponに行くので

あろう。カトマンズに行くらしい。

11:00、2380m。トウガラシを多く売っている。途中の駅は茶の積み出しの駅であった。

Naga嬢の話：もち米chahau、釜のことchapu、図あり。ハトムギのことは知らない、コメが多く、白、赤、黒色の品種がある。

変異は大きいようだ。シコクビエkodoを見る小林さん。ランが咲いている。

k87-11-6-1

11:20、2350m。ガスがうまく流れない。路傍にツリフネソウ2種。スギ林と中低木照葉樹林に行く。シダやアジサイが多い。

Thasta まで25km。Naga+Manipur とIndiaの戦闘で死傷者があったと言う。

11:43、運転手が朝食をとる、小さな村で、vegetable momoを食べる。これから後はジャングルばかりらしい。

7日にはストをやらないことになった。Kalingpongは2晩よい。Tin mail 村、3マイルと言う意味。Moter・zholaマ
メ・スープ

の意味で、辛いものである。

12:15、2310m。12:18でTeestaに23km。簡易舗装の山岳路をKalingpongに向かう。日本の山よりも若干明るい感じがする。小村を通過する。Tまで19km。カリフラワー、キャベツ。Solidago。Sikkimの国境に軍隊。右に小さな池がある。

- k87-11-6-2 左手のカンチェンジュンガの前はSikkim。
12:37、2068m。道端に小さな花のランが美しく咲いている。林の写真を撮る。よく売っている赤いダイコンを買
道路の補修は村人の大きな仕事のような。日本と同じような、立派なスギ林tupiがあり、下草は十分に刈り取っ
ている。
林野庁が植林、価格は高い。Tister Riverが左手の谷。林床にショウガ科が多い。
- k87-11-6-3 12:55、1740m。サクラソウ、*Mimulus*, *Cardamine*, *Rorippa dubia*。村の小学校があり、女の先生、20名ほどの
児童で、
男の子が30%ほどらしい。モウソウチクに近い竹がある。茶園が多い。清流がある。茶は茎が太いが、低く整枝され
ている。
*Datura*が多い。ツリフネソウは変異に富む。*Bidens*, ガンクビソウ、所々に展望台がある。大きな葉の笹の藪。
13:20、1330m。柑橘園。アゲラタムが多い。バナナ、ヤシは少しある。下降して行くと、広大な茶園が続く。谷が
大きい
こと以外は日本の景観に似ている。
13:32、863m。広葉樹林になる。ホオ、カン。大型トラクターが人を乗せている。良い景色のところで写真を撮る。
下に川の合流点が見える。右手の丘がKalingpongらしい。通り過ぎる女性たちは皆にぎやかだ。広葉樹も植林した
ようだ。
ホオに似た木はひどく食害を受けている。川に向かって、ループ状に急下降する。
13:55、480m、Tistaまで2km。橋を渡る。Tista Bazarに着く、458m。
大きな川を渡る。447m。川面まで20m。チェックポストでパスポートを見せる。
14:08、この後上り坂になる。
14:10、Gantokに62kmの2叉路地点で、右折Kalingpongに14km。
14:15、682m(道標では425m)、スギの苗床がある。
- k87-11-6-4 14:19、747m。オカボ畑が少しある。バナナは良くなっている。オカボの棚田。シコクビエ(ラギ) kodoも出てく
14:34、885m。Maizeはごく少しある。シコクビエは紫色で湾曲した穂。
Taman族の家に似た住居、薄褐色の土塗り。ポインセチアが多い。モロコシの下垂タイプ、シコクビエのオープン
クワズイモ、*Brassica*登熟中、kodo、upland rice。
14:44、1256m。Kalingpongまで3km。Kodo、ヒエらしき物、褐色の穂だが、十分見えない。
14:48、SH, Kalingpongまで1km。
14:50、1380m。Silver Oaks Hotelでお茶。
- k87-11-6-5 15:30-16:30。Bazarに行く。ソバ2種、シコクビエ、トウガラシ。ChanとRoksyたねが2種類ある。
17:35-20:15。Bazarで夕食。ホテルのロビーにはオカズイセンが活けてあった。
21:00デリーに電話する。AH, JHにも阪本隊長は泊まっていなかった。国内電話は直通5分、間接カルカッタ経由で30
かかる。
-
- 87-11-7 Kalingpong, 7:00に起きる。ダブルベッドは大きくてよいが、体温を取られて寒い。東向きの温かい部屋だ。阪本
先生と
連絡し、別行動になる。彼らは予定通り動き、20日にAHで会う。

- 9:08、1324m (100mほど過大評価)。ホテルを出発。アゲラタムが多い。カトマンズもそうであったので、この標高ではよく生育するのであろう。ポインセチアも3mくらいで、ほぼ同じ気候なのであろう。
- 9:14-9:34. 古いお寺、ブータンが援助している。Spirit-tawaiをひどく恐れるNaga族。棚田はオカボ、ショウガの栽培が多い。
- k87-11-7-1 9:50, 1660m。棚田でイネとシコクビエをたくさん作っている。ショウガも多い。(今考えればターメリックか10:00-10:50. Gantokまで15マイル。Mazus, Rorippa dubia, Cardamineを採集する。ピクルスを干していた。元の道に戻る。Kodo畑にmakaiが少しあり、抜かれている。クロコショウmarij を搗いている。臼はokhuli、杵はmusuliと呼ぶ。11:15、ヒマが少しある。イネが主食で、茶園は町周辺には少ない。女の子が舌を出して照れるのも同じしぐさだ。映画館は込んでいた。女子学生がGlkalandの寄付集めをしていた。11:30, Naga彼女のホテルに荷物を取りに行く。11:45、バスに乗り別れる。帰国したら、Ammirについて小説を書こう。k87-11-7-2 その後13:05まで。運転手の奥さんの家で、momoをいただく。義父はシンガポールの人で、戦後すぐに神戸に来たと
言う。
「何もなかった。」故郷シンガポールからジャカルタに行き、カリンポンに居ついた。青い目なのでヨーロッパ系の人なのだろう。
平和な町を好む。義母は大学で化学か生薬を教えているらしい。山腹の家で、庭からは広い谷と、左手にカリンポンの町が見える。
13:05、1380m。丘を登り、カントンメントに行く。
13:15-13:34, 1580m。カリンポンで最も大きい東向きに建てられているラマ寺院に行く。天国と地獄の絵が壁面に描かれている。子どもから大人まで30名ほどが読経していた。
k87-11-7-3 113:42-13:55、ヘリポートに行く。1560mだが、表示は1400mなので、後者に修正する。
ヨモギが10cm直径くらいの灌木になっている。ゴルフコースがあるが、ボールは谷底まで転がりそうだ。
k87-11-7-4 14:01-14:24、1350m。ピンクの花のFagopyrum esculentumはrotiにのみ調理するという。イネはbhat、rotiで、ヌードルにはしない。Selroti はといた液をまわして、フライパン上に流すので、真ん中に穴ができる形態の物と言う。
図あり。コムギはmomo、roti、ヌードルにする。ヌードルは練ってから、展ばしてナイフで切るか機械で切る。
シコクビエはroti、chan (tombaと同じ物) に加工する。
花壇は休み、Kalingpon Collegeを通過する。
k87-11-7-5 14:32-14:48. 1164m。苗床。Mazus japonicus, R. dubia, C. flexuosa, 赤いAmaranthus in シコクビエ
kodo field
k87-11-7-6 Bazar. Hat. Restaurant Mandarin. Gyathuk はnoodle soup のこと。お茶を飲む。マニオク20cm、
sakkarkhanda。

トマト小中、ナス2品種、カリフラワー、ショウガ、マメ、ハヤトウリ、ダイコン、ジャガイモ、トウガラシ6品種、ユウガオ、キュウリ、キャベツ、ニンニク、タマネギ、マメ類6種、ニラ、カボチャ、サトイモ、ニガウリ。ミカン、バナナ、サトウキビ、マンゴ、グアバ、ザボン、パイナップル、レモン小中。
Glukaland: 経済的解決のみではなく、政治的解決を望む。西ベンガルは主人ではない。
16:00にホテルに戻り、茶を飲む。1930夕食、21:00寝る。

87-11-8

7:00に起きて整理後庭を散歩。8:00-8:40朝食。Prakashさんが来て話す。10:00に手紙をとりに彼は妻の家に行
小林さんはホテルに戻る。明日2時に会う。彼はDarjilingで我々をおろして、Suligliに行き、Sligliのofficeで許可について

聞き、我々はDarjilingで延長許可を取る。

10:28、ホテルからダージリンに向かう。

k87-11-8-1

10:30、1162m。Tisterまで14km。元の道をそのまま戻る。シコクビエ、紫のアサガオが美しい。

viewpoint : juneroはモロコシbajeraのこと。5-6個体をキッチンガーデンで栽培。ヘチマ? Geloraは黒っぽい。

11:05, 908m。テラス畑でシコクビエ。サイズは少しづつあり、エダマメで食べる。

k87-11-8-2

13:10, 743m、Tistaまで8km。シコクビエとイネが多い。バナナが多い。

11:13-11:23, 660m。稲田、シコクビエ。アサガオ、オジギソウ、イノコズチ。

11:30, 610m、Tistaまで6km。Deoscoreaが少しある。

486m、Tistaまで4km。広葉樹林、表示は425m、高度計は460m。スギの苗床がある。

Tistaまで2km。クルミが多い。Loop roadを下降する。Srigliまで58km。

11:42、Tista川をわたる。チェックポスト。ダージリンまで29km。Tista Bazarで243m。

Galdhimachaがいる、ヒゲ・サカナ、なまずのこと。水量の多い川。Officerが朝食に行っていないので、待つ。

首振り鳥アルコール1対で40Rs.

12:02、TistaからDarjilingに向かう。Alocasiaはキッチンガーデンに多い。すぐに止まる。

Bazarで売られている野菜。ダイコン、マメ3種、菜、トウガラシ、ハヤトウリ、カボチャ、ショウガ、ジャガイモ、タマネギ、

ナス2品種、トマト、カリフラワー、ヘビウリ。Beyleafをtejpattaと呼ぶ。パパイヤ、グアバ、サトウキビ、パイナップル。

竹製の円形の箕をnanglo と呼ぶ。魚はナマズ nengura、フナ gualu, katlama、4-5種はいる。Yeast屋のおばさんにまた

会う、3回目。

k87-11-8-3

12:29、Bazarからダージリンに向かう。2km、300m。Loop roadを上昇。サル3頭と子ザル。茶園にいたる。

12:35, 500m。野生のDeoscoreaを多く見る。まだ緑のトウモロコシを少し見る。

13:05, 1229m、茶園の道端。黄色の花のマメ、アキギリかSalvia sp. が多い。茶は6-7月から6ヶ月間に摘む。

小葉3、中葉2枚を摘む。車のラジエータがオーバーヒートする。地図あり。

13:18、Jabinghaまで19km。ヨモギが多い。下部が朽ちた木でも倒れていない。つまり大風は吹かない。せみが木で

ミョーンと鳴いている。子どもが車に手を挟まれたらしいが、問題なく、無事ラジエータの水を換える。上り坂で過熱。

13:35、シダ、ササが多い。Jabinghaまで17km、サクラソウが咲いている。Lopchu Bazar 10マイル。

茶を飲む。前々日の小さな学校があったところ、先生も休みでいて、この村に自宅がある。

14:03、Jorenbunclaまで16km。小さな枯れススキがあった。スギ林にくる。小林さんは北山スギに似ていると喜赤い *Amaranthus* が少しある。

14:22、小さな村を通過する。1946m。

14:27-15:07, 1994m。車修理、クリ拾い。ウシ5頭、ヤギ2頭。

15:15、Mungpuまで17km。来る時にvegetable momoを食べたところで、再びmomoとnoodleを食べる。スプーンとフォークを両手に持って食べるようだ。15:30。15:48, 2190m。15:55、ダージリンまで8km。

16:00すぎに、ダージリンに着く。ホテルはNew Everest Luxury。

金物屋：パン tawa； ナベ botu； 皿 plate； 深皿 tali。

17:30-20:30、Bazarに行き、買い物と夕食をとる。

21:30、標本整理。

87-11-9

夜中に腹痛で起きる。2:30。毛布2枚で、セーターを着て寝ても大変に寒く、時々目覚めた。

6:30に起きて、荷物整理。7:00にお茶。カンチェンジュンガは今朝も美しく、よく見える。

8:00、外で朝食、散歩、houseを探す。

10:30にForeign Reservation Officeに行く。滞在日数を増す。

14日に来れば15日までOKと言うことであったが、そのままSligliに行くので、別のOfficerに判を押してもらい、来なくても

良いようにする。13時に再び行く。みやげ物を見て歩く。

13:00頃officeに行ったら、Bagdgraから飛行機で行くのなら、問題なく自動的に15日までOKになっており、

Darjilingでの

チェックの必要はない。

18:00-19:30夕食。ノート付け、その他をして、21:00過ぎに寝る。

16:00頃、打ち物屋に行き、ヤスリを買う。ククリの葉を取る。鋭利なククリやクワ、鉋、鎌などたくさん売っていた。

Darjilingの印象：カンチェンジュンガ山の雄大な姿を全面に、丘の頂から中腹に向かって、イギリス風、チベット風の家々

が並ぶ。バザールは10-18時頃まで。夜は早く閉まる。学生の著しく多い町で、よほど裕福なのであろうか、衣類が良い。

センスも悪くない。ここも犬が多いが、用心が必要なのであろう。夜は天の川も美しい。斜面は延々と茶畑。坂が多い、

大変に美しい町で、Oxford Book Storeには世界中の本があるし、貸し出しもしているようだ。土産物屋は当然多いが、

押し売りはしないし、比較的妥当な値段だろう。町の人々も親切で、物乞いも30名ほどいるが、そんなにうるさくない。

Glucaland独立の中心地であろう。

Kalingpong： 前者よりも小さい町で、雑然としている。若干裕福ではなく、夜外出するのは危険だと言う。酔っている男も

多いそうだ。町はこじんまりしていて、活気はある。ダーズリンより標高が1000mほど低いので、幾分温かい。

丘の上に集落が形成され、尾根伝いに道がつくのは当然のことであろう。ブータン人らしいを1名見かけたのみ。

ラマ寺院は大きな物がある。軍事要衝。

87-11-10

6:45起床して出発準備。10時にP氏が来なければ別のtaxiで出発する。朝食後散歩、やっとNHM博物館か？ を見つける。

9時に開館。9:20、スケッチ、F R Office

11:10、Siligriに向かう。ゼネラル・ストライキに入ったとかで、すべてが閉まり、せかされてタクシーに乗り込む。P氏は

こなかった。

k87-11-10-1

11:29、車が落ちたらしく、通行止めに会う。トラックは無事引き上げられる。この間採集する。

13:02通行が可能になる。霧が出てくる。学校帰りの子ども、籠をしょっている子ども、いろいろな階層があるのだろう。

6910km、1900m、Siligriまで60km。マリーゴールド、ハヤトウリが多く栽培されている。ショウガが咲いている。エンドウマメも開花中、サトイモあり。

6921km、1735m、13:28. 道路はいたるところで補修している。少女たちは車に乗せてもらいたがって手を上げる。

6936km、1568m、13:37. 山腹に白い墓が10基位ある。スギ林、サクラが満開。

6920km、1500m、13:42. Kurseong 町を通過する。

14:03、お茶を飲む。2台のSLがあった。合計で見たのが6台、全線で10台くらいあるのだろうか。70cm、狭軌道、ジザグに走る。

6935km、1310m、14:16. 低地が見渡せるようになる。マツ林、ヒノキ類。

1170m、14:28.

6941km、1120m、14:30. Siligriまで35km。ランタナが多くなる。汽車の客車、貨物車が10両ほどあった。

右手は汽車の工場か。

k87-11-10-2

6948km、850m、14:45. Tingnalia 村。Coixはgaremara と呼ばれ、首飾りにする。

竹編みの家がある。

6951km、738m、Siligriまで25km。ボダイジュが出てくる。広葉樹ばかりになる。ルドベキアが多く開花している。来る時にCardamineを採集したところ。

6954km、614m、15:01. ルコウソウ、黄色い花のルドベキアが多い。

6956km、532m、15:04. Sまで20km。ハウノキは虫食い。バナナが多くなる。また茶園がある。Penisetumの雑草があった。

6961km、352m、Sまで15km。カシに似た大木の林。デンドロビウムがたくさん着生している。シダ、Deoscorea.

カシワに似た木は落葉樹か?水路にAlocasia?. 中低木はない。林床は明るく豊かである。

6967km、230m、15:21. 水田が出てくる。niger seedは少しある。

6971km、203m、15:25. Sまで5km。川を渡り、左折する。192m、15:28. ホテイアオイが多い。

15:30、市内に入る。湿地にイモノキが多い。Coixは見られない。水田は少しある。

住宅地、ホテイアオイが多い。右手に鉄道が見える。

9661km、189m、13:45. プルメリアがある。

6962km、13:50. Stationに着く。切符を買う予定であったが、取りやめて、バスで行くことになった。

19:45. カルカッタ行きのVideo Coachに乗る。

22:45. 休憩。卵を小さなフライパンで焼き、パンのブロックにはさんで食べる。ゆで卵もある、図あり。何人もがコンローフ

で店をやっている。鉄道を横切ったので、大きな駅のある町なのであろう。

87-11-11

2:00, 休憩でお茶を飲む。Chauru, chauruと言って茶を売っているのでおかしかった。

5:30休憩、明るくなり、そろそろ日の出のようだ。Goldspotを飲む。手押しポンプの井戸があった。幅30-40mの川に沿って

走ってきた。ココヤシが多い。

8:45カルカッタのバスターミナルに着く。

taxiでMr. Ohnishiを訪ねる。その後、ホテル探し。結局、GEHしか空室はなく、ここに入る。

11:00頃、朝食を取り、自由行動とする。洗濯や整理、手紙書きなど。夕食もホテルで済ます。

11月9日から11日の整理: 1. 9日の2時pにPrakash氏は来ず、Sikkim行きはだめになる。10日の10時aまで待つ
Siligriに行き、飛行機でCulcuttaに行く予定にした。2. FR Officeでは15日まで自動的に許可、空港で確認するので、問題

はいと言ふことがわかった。3. シュエノホルヘッドノイマが知まつたと言ふことし、セカと4時にtaxiに来る。途中手

が不通となり、2時間待つ。この間に会った学生によると、ストはバスだけで、他は関係ないという。したがって、HMI, BNHM

へは行きそびれた。4. 事故現場のArmy Officerによれば、10日に出たほうが、中央に対してよいと言うことなの
急遽列車に乗ることになり、Siligriの駅に急いで出たが、乗れなかった。5. 小林さんは出域のスタンプを駅で押
してもらう。

taxiは釣りを渡さずに行ってしまう。6. Taxiに乗って、bus terminalに向かうが、遅いし、途中で故障する。

7. 小林さんは

バスのブッキングに走り、小生は荷を積みなおして、後を追う。Rsとパスポートを彼に預けたままで、何もなく、
金を要求さ

れ、心細いが、とにかく小林さんを探して支払うと言い、出発。しばらくして会うが、taxi側と言い合いになる。

8. 夕食をとってから、busに乗り込む。途中、2-3時間ごとに止まり、カルカッタに着く、13時間ほどかかった。

9. 市に入るときに、小林さんの荷物にチェックが入り、寝ぼけていてすぐに動かなかったので、小生が飛び出
途中よりかかられて、肩が痛くなった。10. 塚原氏から紹介されていたところは、立派なマンションで、20後半
から30前半

くらいの女性が一人いた。日本のインド研究者が年10万円出して借りているのだと言う。泊まれるのはこの部屋で、食事は

彼女が作ると言う。Ohnishi氏はロンドンに行っていて不在。何の情報もない。対応については省略。

87-11-12

7:00に起きる。トウガラシの処理。7:30洗濯物を出して、新聞読み。朝食。

9:00、切符を買いに行く。Easter Railwayの予約所で買うが、WL4・5であった。隣のビルの2F, 外国人窓口で援助を請う。

最初に切符を買う前に、ここに来るべきといわれた。何か書類を書くことで、優先してもらえそうで、1時間前に行って、

contactをとるように言われた。16時発だから、15時以前に行くこと。正規に入手することは大変に困難なようだ。computerで予約されている。1st class、A/C sleeper、2-4人のコンパートメント、飛行機代くらいの値段である。

Hawyah Station Platform no.9.

Sita Travel Agent. Murcury Travel の情報収集: 6人でならDelhiのMHAの許可は要らない。5人以下なら必要である。

10-15日でアレンジできる。T. Agent. Assamには1週間いられる。しかし、日本大使館から許可を求めたほうが良い。jeepで廻るのは困難、飛行機で点をつなぐ。関連のsiteについてはノートに住所がある。総領事館で聞くと、やはり大使館

経由で申請して、60日間待つことになる。カルカッタ日本人学校の訪問。

Tourist Officeで明日の切符を買う。Assam house, Megaraya Houseを訪ねる。

14:00対面のパーラーでピザを食べる。日本領事館。若干の情報を得る。

16:00ホテルに戻り、お茶。整理に時を過ごす。

87-11-13

6:00に起きる。リンゴを食べ、コーヒーショップでトースト。

7:20, Tourist Bureau前で、4450のバスに乗る。7:30に出発して、17:20に解散。

17:50ホテル、日曜朝まで別行動とする。

植物園は広くて、大木中心にラベルがつけられていた。バンヤンジュの1個体は確かに巨大である。ゆっくり時間を取れば

どこに2万種の植物があるのか、見えなかった。動物園では有名な白いトラ、ライオン x トラのF1の数個体、Tigonを見た。

暗かったので、写真がうまく取れたかは疑問である、

Indian Museum: 圧倒されるほどの数の、化石や岩石の標本が収集されていた。イギリスのやったことであろう日本の貧弱さがいやになる。コレクションと研究が結びつかない体制ということであろう。整備は悪いが、数は多金曜日は無料、本日、と言うのはよいことである。かなり込んでいた。Bictria Memorialは絵画が多く、ゆっくりと見れば面白

いかもしてない。

Jain Temple. ステンドグラスや大理石、ミラーワークが面白い。女性向のこぎれいな寺院であった。

チャパティやプリーの作り方がよくわかった。

87-11-14

700に起きる。8:30-9:00朝食。

Japanese Schoolに行く。輸入の問題。種子が合わない。花屋で買う。牛糞を入れて土の改良をしている。アサガオはよい。

ヒマワリは芽が出ない。オンロイバナは途中でだめになる。ヘチマは腐る。ホウセンカとワタはよい。

季節や生長が異なる。複式学級で、メンバーが変わる。内容的に跳んでしまう。外に出て、博物館にはいく。

植物園や動物園にはっていない。季節感はある。現地で植物を探すようにしている。実践例を入れてほしい。

現地調達するために、薬品名、器具、肥料など対照表がほしい。土、ウリ類の殺虫剤。消耗品費として70万円使用できる。

0:30に辞して、11:00-13:00はIndian Museumに行く。昨日のガイドさんは日本語を学んでいた。許可を得て、写真たくさん撮った。Directorがとがめたが、英語が通じず、書類にサインさせようとした、だめなので、小ばかにした態度であった。

13:00-14:00昼食。チョロンギ通り。ホテルに戻って、ドクトルジバゴをテレビで見る。

18:15資料整理。20:00夕食。

87-11-15

7:00起きる。8:00朝食。新聞を読み、出発準備をする。

11:30チェックアウトして、昼食をとる。

14:20頃、白taxiでHowrah Stationに行く。

14:40に駅に着き、小林さんが切符の交渉に行ったが、ほぼ定刻にRajidhani Expressはtailcrossを見せて、ゆっくりと

去っていった。その後、19時発の交渉に行く。切符は同額で、別の列車に書き換える。

18:36に乗車する。4人部屋に3人。彼は途中で降りると言う。弁当を売りに来たので、買う。タルカリ。ダル、プラオ、chopathi.

19:00過ぎに発車。Delhiまで22時間かかる。切符は個人で買うのは大変に困難である。物凄い人波で、容易でな案内人に頼んで、御礼をして買ってもらおう。

20:00過ぎに、ベッドメイキングがあり、そのまま寝てしまう。

Calcuttaの印象：狭い通りに人があふれている。路上生活者、こじきなどが多い。政治スローガンが多い。100年建物がそのまま使用されており、新しい建物は必ずしも多くはない。町並みは古臭くて、落ち着いている。イギリス人が

作ったものをそのまま使用している。新しく修理、改築をせずに、と言う感じである。市電が現役であるのはうれしい。

道が狭いのに良くがんばっている。川の対岸の町には橋1つで、混雑が著しいのに、バイパスを作らないようだ。

物の品質は低く、値は安いようだ。

87-11-16

6:10停車、MugalSarai 駅。車掌が起こしに来る。

6:50モーニングティを配る。日の出を見る。

朝食の予約に来る。次の駅Allahabad (9:00着) でもらえるのであろう。茶は同乗の人にご馳走になる。

8:30朝食、パン、オムレツ、お茶、ミカン、バナナを食べる。

車窓はコーティングしてあって、見難いが、過ぎ行く畑には次のものが植わっているようだ。時々モロコシ、イネは多い。

Cajanus (pigeonpea)、トウジンビエは少しある。

9:00何かわからないが、seedling、コムギかもしれない。Bajera、jowarが多くなる。他はseedlingの状態の畑が多い。

広大でほぼ平ら、畑の中に点々と小さな林がある。9:00に渡った川は幅が50mくらい。サトウキビがまれに出てくイネは収穫して、脱穀をしている。ウシ2頭で鋤により耕起して、何かを播いているようだ。ピンク色の土が続く。トウジンビエを良く見るが、イネのほうが多く栽培されている。ほぼ登熟しているが、一部未出穂のものもある。イモノキ、ランタナ、は多い。家は白壁で、赤瓦葺である。

9:30-9:48, Allahabad パルミラヤシが少しある。

12:25-12:45、Kampurに着く。チキンカレー、めし、プーリ。収穫中の水田地帯が続く。時々モロコシなどがあ

15:45、停車Junction.コムギらしいものが播いてある。

17:30、落陽、日長は12時間弱であった。

20:30、Delhi Station, ホテルなし。22:00ゲストハウスに入る。部屋で夕食をして、23:30寝る。

87-11-17

8:00に起きて朝食。

9:30、Janpath Hotel, JCIC に行く。

11:00、JHに移動する。整理してからジュースを飲む。パイプ屋に行き、Bank of Tokyo, Kanishkaの宝石屋に行き戻る。

小林さんはUnacompanied laggege の代理店に行く。18:15、手紙書き。20:00マンダリンで夕食。23:00整理後寝

87-11-18

7:00起床し、荷物整理。9:00-9:40朝食。

10:00、発送代理店に行く。RNAの隣の小階段を3F分上がり、屋上を抜けて、小さな部屋に行く。4人の男がいた。

10:30-12:15、別れて、本屋と金物屋に行く。ホテルに戻る。Bangkok行きは不可能らしいので、TGはそのままreconfarmする。チケットのx印は予定変更ができないと言う意味である。

16:00頃、Thai Airlineにreconfarmに行く。17:30ホテルに戻る。20:00-21:20夕食Ginzaで。ノートの整理後、23:00に寝る。

Aircargoの件: pasport, airticket、receipt、換金証明書2。総価格。

植物標本はok。少しの種子は問題ない。多い場合は貿易となる。前日にもってくればよい。ICAR(NBPGR)の証明書は1枚

コピーでよい。インドではok。両者の名前(東京と京都)がついてればよい。Seedlingは若干問題がある。

seedは別にする。服などは50%off、送料が安くなる。48Rs/kg、手数料1個につき、250Rs。JALcargoの場合はJALのairticketでないため。

87-11-19

8:15に起きて、朝食。小林さんは予約に行く。荷物整理。

10:00に電話するとMiss Oは留守で、Dr.Aroraが出る。読書。

13:30、昼食後、再度電話、Miss Oは休暇、明日電話することになる。

14:15、自由時間。パイプを吸って、本を読む。映画は後日に残す。20:00夕食、読書。

旅行の印象： 待つことが多い旅であった。飲み屋のはしごのような落ち着きのない旅であった。鉄道に乗って夜が明けてから、特にJanpath Hotelに移動してから、ゆったりとした心落ち着く時間が得られた。旅慣れたからなのか、強い緊張もなく、そしてその結果だろうが、強烈な印象もない。ありのままを受け入れ、そのままに流動する。Coatingされたレストランや列車の窓から見える風景や人の動くさまのように、パステルカラーあるいはセピア色の世界として対象化してしまっているのだろうか。同化しない世界を同化しないものと知り、感情の起伏をなくしているのだろうか。感性が鈍くなっていると言うのではない。いつも異質のものとして、同化してしまっているのではないかとも思う。Nepaleseであり、Indianであり、場合によっては日系のAmericanになっけられるようになったのだろう。臆病な警戒心はあると思うが、不安と言う物が少ない。成り行き任せで、ケセラセラという開いた気持ちに思える。ジプシーの映画は印象が強かった。GujaratやRajasthanの地から彼らが出たと聞くと、服や踊りはその感を強くす他のtribeと結婚を許さない、強い個人主義などもカースト制、インドの一般的な結果だろうか。IndianとUSSRは親しいようで、USSRの旅行者が多い。インド人の生真面目さはロシア人のそれと共通するように思える。悪いことを行なうにも生真面目なのである。神々への信仰も厚いが、現世の利益、楽しみを希求するするものである。どうにもならないカースト、能力があっても超えられないという因習と言うもの、諦めが逆に心の平安をもたらすであろう。人々があふれるCalcuttaでも、さっぱりした人はいた。何の裏もなく、要求もなく、ただ話しかける。かのリキシャマン、大変な重労働、少ない収入、生活は苦しいのだけれど、人権拡大の集会に向かっているとの事、インドが大国であること誇りに思っているようであった。日本に対する心証はどこでも良好であった。映画はロマンス物で、単純なストーリーとミュージカルだけと聞いていたが、優れたものが多く、非常にシリアスな物には驚いた。インド小史を前に放映するのは、あるいは観客にとってはお仕着せがましいのかもしれないが、大変に興持てるものであった。独立運動、tribalsの抵抗運動など、視点はともかく、興味は尽きない。

87-11-20

7:00におきて荷物の整理。ノート付け。8:30朝食。

10:30-12:30、NBPGRに行く。Dr. AroraとDr. Chandelに会う。

12:30、ホテルに戻り、昼食と本の整理。15:10、本の発送のためにCPに行く。16:20にホテルに戻る。阪本隊長と河瀬さんが投宿、歓談。20:00に夕食に行き、1時まで話す。Pakistanの話し、アワとキビは山岳地帯の村で多く作られていてシコクビエはない。ソバは2種ある。これらは主にrotiにする。稀に粥にするようだ。トウモロコシが雑穀に取って代わっているようだ。KopparさんはUSSRに2ヶ月行く。収集リストを作り直して提出せよ。Sanitary checkが終了してから、整理しなおすこと。Species, locality, date。

87-11-21	8:00に起きる。9:00-10:00朝食後 東京銀行、タイ航空に行き、Kanishkaで昼食。 14:00、ホテルに戻り、着替えて、NBPGRに行く。16:45頃、ホテルに戻る。20:30銀座に行く。24:00寝る。 イブキジャコウソウ、Sukarduで買い、茶にして飲むと、香りが良い。
87-11-22	8:00起床、9:30-10:30、朝食。12:30-13:15、昼食。14時過ぎにDr. Chandelが父子で訪ねてきて、市内観光して、夕食。19:00頃ホテルに戻り、雑談して2:00aに寝る。 あらゆる宗教が祈れる寺、塔、天文台、M. ガンジーが訪れた寺、Carmalabazar。Lblockのアイスクリーム屋の2レストラン、ヨーロッパ人が多く来ているファーストフードの店。インド、中華料理もある。
87-11-23	9:00起床、阪本隊長はSABRAOの開会式に行く。小林さんはCargoの会社に行く。 13:00-14:00、Kanishka Hotelなどに行ったが省略。18:00にAmbassador Hotelに戻る。パパイヤとザクロを食べる。24:00過ぎに寝る。
87-11-24	8:00、起きる。9:00-10:20、朝食、雑談、荷物整理。13:30、昼食後にAgent, JAL, Oxford Book Shopに行く。 18:30、ホテルに戻る。荷物整理など。20:30夕食後雑談。0:30aに寝る。
87-11-25	6:40、起きる。10:00朝食。阪本先生はJCICと大使館に行く。13:00昼食。 14:30-16:00、NBPGRとPost Office、雑談。Air Cargoの荷物整理。21:00夕食後雑談。2:00a、小林さん空港へ、玄関まで見送る。 159サンプル。別の用紙袋に入れられ、採集番号のほかに、IC no. がつけられていた。小さなダンボール箱に入れていた。証明書2枚、listはタイプライトしてあった。こちらのOriginal Listを手渡した。もちろん脱穀してあつ
87-11-26	7:45、起きる。8:30朝食。電話して、Cargo Agentに行く。9:30、空港、Cargo Terminal, JAL。 14:20、昼食後に、15:30、JALの松下さんを訪ねる。16:30ホテルに戻る。Khan Marketを少し歩く。 19:30夕食。21:15、ノートを整理して寝る。
87-11-27	8:00起きる。9:30朝食。10:15、Cargo Agent, 東京銀行、Old DelhiのChandni Choukへ行く。 13:00、CPで昼食。14:30-18:40、映画を見る。19:00-21:00、JHで夕食。1:00a頃寝る。
87-11-28	8:00起きる。9:00朝食、帰国準備。13:15昼食。雑談。16:00
87-11-29	成田着。